旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事

令 和 4 年 度

図　面　目　録			
図面番号	図　面　名　称	縮尺（A1・A3）	
K-01	建築物解体工事特記仕様書	――――	
K-02	配置図・案内図	1/100	1/200
K-03	仮設計画図	1/100	1/200
K-04	外構解体図	1/100	1/200
古宇利診療所			
K-05	仕上表・求積図	1/50	1/100
K-06	平面図	1/50	1/100
K-07	屋根伏図	1/50	1/100
K-08	立面図	1/50	1/100
K-09	断面図	1/50	1/100
K-10	金属製建具表	1/50	1/100
K-11	木製建具表	1/50	1/100
K-12	天井伏図	1/50	1/100
K-13	基礎伏図、基礎・地中梁リスト	1/50	1/100
K-14	梁伏図、部材リスト	1/50	1/100
K-15	軸組図①	1/50	1/100
K-16	軸組図②	1/50	1/100
看護師住宅			
K-17	仕上表・求積図	1/50	1/100
K-18	平面図、屋根伏図	1/50	1/100
K-19	立面図	1/50	1/100
K-20	断面図	1/50	1/100
K-21	建具表	1/50	1/100
K-22	天井伏図	1/50	1/100
K-23	基礎伏図・梁伏図	1/50	1/100
K-24	軸組図①	1/50	1/100
K-25	軸組図②	1/50	1/100

沖 縄 県 立 北 部 病 院

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	図 面 目 録 ――――
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-00
摘　要				設計者 名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
			宮城	登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7

建築物解体工事特記仕様書

沖縄県土木建築部
令和3年7月改定版

1　工事概要
(1)　工 事 名　：旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事
(2)　工事場所　：今帰仁村字古宇利 地内　　（地域地区等:　　）
(3)　敷地面積　：　765　㎡　（ 診療所:603㎡、看護師住宅:162 ）
(4)　工事種目　：解体工事
ア　建築物

建築物の名称	古宇利 診療所		看護師住宅	
主要用途	診療施設		住宅(看護師宿舎)	
構造及び階数	RC造1階建		RC造1階建	
工事種別	解体工事		解体工事	
建築面積	182.80	㎡	79.80 ㎡	㎡
延べ面積	167.00	㎡	60.00 ㎡	㎡

イ　工作物及び立木

工作物等の名称	フェンス		
数量	図面参照		

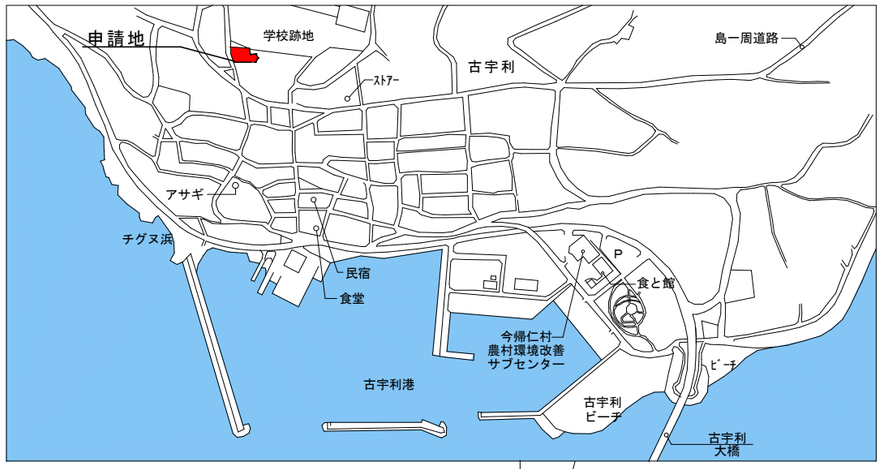
2　本工事の設計時期
本工事設計書は、令和 4 年 11 月　日時点での建築工事積算基準、労務単価及び資材単価に基づいて作成している。

3　建築工事仕様
(1)　標準仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書」[平成31年版]（以下「共通仕様書」という。）による。
(2)　特記仕様
ア　項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。
イ　特記事項は、「・」に〇印の付いたものを適用する。
「・」に〇印がつかない場合は「※」のついたものを適用する。
「・」と「※」に〇印がついた場合は共に適用する。
ウ　項目及び特記事項に記載の（ . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4　その他
(1)　暴力団員等による不当介入の排除対策
請負人は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書（平成19年7月24日）に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。
ア　暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
イ　暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督院に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。
ウ　暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。
(2)　ワンデーレスポンスの実施
ア　この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。
イ　受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。
ウ　受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。
エ　効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。
(3 工事監理業務への協力等
ア　本工事の工事監理業務（建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。）は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。
イ　工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者（以下「管理技術者等」という。）の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。
ウ　設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。
エ　建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。
(4)　本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて
本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率（元契約額÷元設計額）を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。
(5)　下請業者の県内企業優先活用
請負業者は、下請契約の相手方を県内企業（主たる営業所を沖縄県内に有する者。）から選定するように努めなければならない。
(6)　不発弾等発見時の処理について
本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署（交番、駐在所）に報告すると共に、監督員を通して関連市町村（防災主管課）、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術管理課に報告すること。また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。
なお、これについては、下請業者へも周知すること。
(7)　ダンプトラック等の過積載等の防止について
ア　工事用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。
イ　過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。
ウ　資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。
エ　さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることがないようにすること。
オ　「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。
カ　下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
キ　アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。
(8)　不正軽油の使用の禁止等について
ア　受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）又は建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。）を使用させてはならない。
イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。

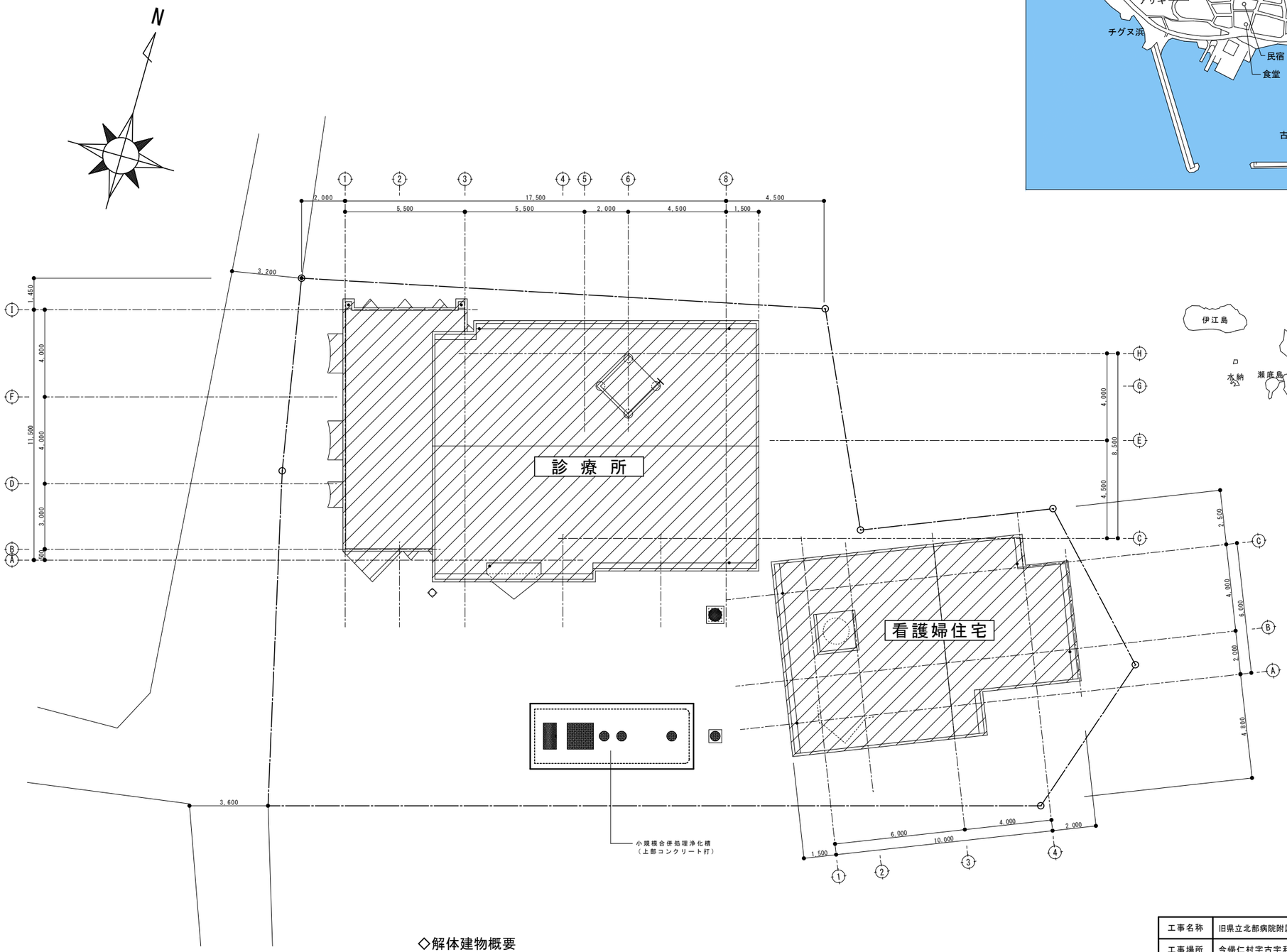
章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	① 「建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」（平成12年法律第104号） ② 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」（昭和45年法律第137号） ③ 「建設工事公衆災害防止対策要綱」（平成5年1月12日　建設省経建発第1号） ④ 「建設副産物適正処理推進要綱」（平成5年1月12日　建設省経建発第3号） ⑤ 「建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン」[国土交通省][平成15年7月] ⑥ 「沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に関する実施要領」[沖縄県土木建築部][平成25年12月]
	② 工事実績情報の登録（1.1.4）	登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しな
	③ 工事の一時中止に関する事項（1.1.9）	工事の一時中止に係る計画の作成 (1)　契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 (2)　工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
	4　工事の余裕期間	・本工事は、余裕期間を設定して実施する工事である。 (1)　本工事は余裕期間として【　　日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。 (2)　CORINS登録については、実工期期間にて技術者の従事期間の登録を行うこと。 (3)　余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は不要とする。 (4)　受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものとする。 (5)　受注者は、着手関係書類（工程表、請負代金内訳書を除く）について、実工期の始期に提出するものとする。 (6)　受注者は、余裕期間内においては資材の搬入、仮設物の設置等工事の着手を行ってはならない。ただし、余裕期間内に施工体制等及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員と協議を行い、速やかに工事着手するとともに、着手関係書類を提出するものとする。 (7)　実工期の始期に変更が生じた場合は、全体工期の変更協議を行う。 (8)　受注者は、契約書第35条第1項の規定にかかわらず、実工期の始期以降でなければ、発注者に対して前払金の支払いを請求することはできない。
	⑤ 電気保安技術者（1.3.3）	電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。
	⑥ 施工中の安全確保及び環境保全等（1.3.6）（1.3.9）	(1)　「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号（最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号））による建設機械 (2)　本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経機発第249号（最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機一般工事用建設機械（ディーゼルエンジン出力7.5～260kw） ア　バックホウ イ　車輪式トラクタショベル ウ　ブルドーザ エ　発動電動機 オ　空気圧縮機 カ　油圧ユニット（基礎工事用機械で独立したもの） キ　ローラ類 ク　ホイールクレーン
	⑦ 交通安全管理（1.3.7）	国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。（平成27年4月3日沖縄県公安委員会告
	⑧ 発生材の処理等（1.3.10）	(1)　マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。 (2)　本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税（沖縄県産業廃棄物税）が課税されるので、適正に処理すること。 (3)　受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」（COBRIS）により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。 また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」（COBRIS）により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。 (4)　受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいくる材の認定を受けた施設又はゆいくる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出することは、ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。 (5)　本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前に掲げる施設のうち、受け入れ条件の合う中から運搬費と処分費（平日受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。 (6)　アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について ア　舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体（以下、廃棄物という。）については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。 「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/asufaruto.html なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。 イ　発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について（通知)(平成24年3月28日付け土技第1257号）」に基づき、適正に処理すること。 ウ　発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて（通知)(平成25年1月17日付け土技第942号）」に基づき、適正に処理すること。
⑨ 主任技術者・監理技術者等		(1)　工事請負代金額が3,500万円以上（建築一式工事の場合7,000万円）の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。 ア　現場施工に着手するまでの期間 【現場施工に着手する日が確定している場合】 請負契約の締結の日の翌日から令和　年　月　日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。 【現場施工に着手する日が確定していない場合】 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて決定する。 イ　検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 (2)　主任技術者等の資格 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。 ・1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、技術士（建築部門又は総合技術管理部門（建築））又は実務経験（※1）を有する者 ・2級土木施工管理技士(土木)、2級建築施工管理技士(建築又は躯体)、どび技能士(1級)、建設リサイクル法の登録試験である解体工事施工技士又は実務経験(※2)のいずれかを有する者 ※1　主任技術者としての要件を満たす者のうち、元請けとして4,500万円以上の解体工事に関し2年以上の指導監督的な実務経験を有する者。 ※2　解体工事に関し大卒（指定学科）3年以上、高卒（指定学科）5年以上、その他10年以上の実務経験を有する者。とび技能士（2級）については、合格後、解体工事に関し3年以上の実務経験を有する者。 ※　発注者へ資格を証明する資料を提出すること。 (3)　主任技術者及び監理技術者の雇用関係について ア　建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日以前に3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければならない。 イ　受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類（健康保険被保険者証等の写し）を提出しなければならない。 (4)　コンクリート造の工作物（その高さが5メートル以上であるものに限る。）の解体作業時は、コンクリート造の工作物の解体等作業主任者を現場に常駐させること。 (5)　解体工事を適切に施工するため、解体作業時は解体工事施工技士を現場に配置することが望ましい。
10 監理技術者の兼務（特例監理技術者の配置）		※　本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（特例監理技術者）の配置を認める。この場合の要件は、現場説明書による。 ・　本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（特例監理技術者）の配置を認めない。
⑪ 工事の保険等		(1)　次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後、14日以上とする。 【・火災保険 〇・建設工事保険　・組立保険　・請負業者賠償責任保険 】 (2)　建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。 (3)　建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。 ア　掛金収納書を契約後原則一ヶ月以内（電子申請方式による場合にあっては契約後原則40日以内）に発注者に提出する。 イ　当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。 ウ　未加入下請事業者に対する加入を指導する。 エ　工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。
12　ゆいくる材の使用等		(1)　本工事で使用するリサイクル資材は、原則「ゆいくる材」とする。ただし、ゆいくる材がない離島での工事の場合は、ゆいくる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいくる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいくる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいくる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。 (2)　ゆいくる材の品質管理 ア　ゆいくる材の品質管理にあたっては、「標準仕様書」等のほかに「ゆいくる材品質管理要領」に基づいて行うこと。 イ　受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいくる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいくる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。 ウ　受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。 エ　受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。
⑬ 設計図CADデータの貸与		本工事では発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与する。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。
⑭ 情報共有システム		本工事は、沖縄県が指定する情報共有システムを使用する。 (1)　現場事務所等に、情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等により当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。 【インターネット環境】:ブロードバンド回線 【パソコンOS】　:Microsoft Windows 8.1/10 【推奨ブラウザ】　:Internet Explorer 11 情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。 (2)　受注者は、沖縄県CALSシステムの利用にあっては、沖縄県とCALS運営会社で定めた使用承諾料を沖縄県CALSシステムを運営している者に支払うこと。 (3)　沖縄県CALSシステムの使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること（支払いの事実を証明する書類（銀行振り込みの写し等）を提出）。
15　施工数量調査（1.4.2）		施工に先立ち、施工数量調査を行う。 (1)　調査範囲　: (2)　調査方法　:
⑯ 墜落制止用器具		・　墜落制止用器具は、フルハーネス型とする。ただし、墜落時に着用者が地面に到達するおそれのある場合は、胴ベルト型の使用を認めるものとする。また、墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）を遵守すること。
② 仮設工事	① 工事用水	構内既存の施設【・利用できない　・利用できる（・有償　・無償）】
	② 工事用電力	構内既存の施設【・利用できない　・利用できる（・有償　・無償）】
	③ 環境対策について	(1)　受注者は、本工事の施工にあたり、「沖縄県赤土等流出防止条例」、「水質汚濁防止法」及びその他環境保全に関する法令等を遵守し、その対策については工事着手前に現場状況の調査、検討を十分に行い、監督員の確認を得た上で施工すること。 (2)　赤土等流出防止対策を行う場合、その対策範囲は図示による。
	④ 仮囲い	(1)　設ける。（範囲、位置及び延長等は図示による。） (2)　防音パネル等を取付ける足場等の設置範囲及び高さ:
	⑤ 足場	・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
	⑥ 監督員事務所（2.3.1）	規模（㎡） 仕上げ　床 内壁・天井 屋根 備品の種類及び数量
	⑦ 電気設備の調査等	解体する建築物に関わる電力、防災及び弱電設備の引き込み等は、事前に十分調査を行い、切り廻し等の措置を施した上で建築物の解体を行うこと。
	⑧ 機械設備の調査等	解体する建築物に関わる給水及び排水の配管や汚水枡等については、事前に十分調査を行い、切り廻し等の措置を施した上で建築物の解体を行うこと。
③ 解体施工	① 事前措置（3.2.1）	事前措置の内容 ・ 工事前の近隣住民への説明が必要 ・ アスベスト工事の際、近隣に影響がないように調整が必要 ・ ・ ・
	2　杭の解体（3.9.2）	(1)　杭の解体:【・行う　・行わない】 (2)　杭の解体工法:【・3.9.2(b)(1)　・3.9.2(b)(2)】 (3)　杭の処理方法: (4)　杭を残置する場合は、転落防止等の処置を行うこと。
	③ 構内舗装等（3.11.1）	樹木等の伐採及び移植の数量及び範囲等は、図示による。
	④ 地下埋設物及び埋設配管等（3.12.1）	(1)　地下埋設物の解体:【・行う　・行わない】 (2)　埋設配管の解体:【・行う　・行わない】
	⑤ 埋戻し、盛土及び整地（3.13.1）	(1)　埋戻し及び盛土:【・行う　・行わない】 (2)　埋戻し及び盛土を行う場合の土の種別:【 ・A種　・B種　・C種　・D種】 (3)　整地の高さ:【・現況GL　・図示による】 (4)　解体後の敷地境界には、木杭及びビニールロープ等により囲障を設置すること。
④ 建設廃棄物の処理	1　再資源化等（4.4.1）	(1)　建設廃棄物及び建設資材廃棄物の再資源化 建設廃棄物の種類 / 施設までの距離（Km） / 備考 (2)　指定建設資材廃棄物としての木材の縮減等:【・行う　・行わない】 (3)　再資源化された建設廃棄物の現場での使用:【・行う　・行わない】
	2　最終処分（4.4.3）	建設廃棄物の種類 / 施設までの距離（Km） / 備考
	3　処理に注意を要する建設廃棄物(4.5.1)	建設廃棄物種類 / 処理の方法等
	4　石膏ボードの処理方法	石膏ボードの種類: 石膏ボードの処理方法:
5　特別管理産業廃棄物の処理	1　特別管理産業廃棄物（5.1.2）（5.4.1）	種類 / 分析調査 / 保管・処分 / 施設までの距離（Km） 【・行う　・行わない】 / 【・保管　・処分】
⑥ 石綿含有建材の除去及び処理	① 施工調査（6.1.3）	(1)　調査範囲:　図示による。 (2)　既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与:　・有り　・無し (3)　分析による石綿含有の調査:【・行う　・行わない】 調査方法:
	② 石綿粉じん濃度測定（6.1.4）	石綿粉じん濃度の測定時期、測定場所及び測定点数 測定時期 / 測定場所 / 測定点数 / 備　考 処理作業中 / セキュリティーゾーン入口 / 1点 / 空気の流れを確認 負圧・除じん装置の排出口 / 1点 / 除じん装置の性能確認 施工区画周辺又は敷地境界 / 4方向各1点 処理作業後（隔離シート除去前） / 処理作業室内 / 2点 施工区画周辺又は敷地境界 / 4方向各1点
	3　石綿含有吹付け材の除去（6.3.2)(6.3.3）	(1)　除去工法: (2)　飛散防止措置:　・湿潤化　・固形化 (3)　処分方法:
	4　石綿含有保温材等の除去（6.4.1)~(6.4.4）	(1)　除去工法: (2)　飛散防止措置:　・湿潤化　・固形化 (3)　処分方法:
	⑤ 石綿含有成形板の除去(6.5.4)	(1)　処分方法:
	1　特殊な建設副産物（7.1.3）(7.3.1）	種類 / 分析調査 / 回収・処分 / 施設までの距離（Km） 【・行う　・行わない】 / 【・回収　・処分】

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和 4 年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称	建築物解体工事特記仕様書
発注機関	沖縄県立北部病院			縮　尺	―――
摘　要				図面番号	K-01
	管理建築士	設　計	製　図	設計者	名　称　㈱国吉設計
検　印			比嘉		資格者氏名 (株)国吉設計　松田 光博
					登録番号　一級建築士事務所 第10Y-157号
					所 在 地　沖縄県名護市字宮里453-7



案　内　図

S=Noscale



◇解体建物概要

診療所	補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造　平屋建	床面積：167.00㎡
看護婦住宅	補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造　平屋建	床面積：　60.00㎡

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	案内図・配置図 S=1/100(A1)　S=1/200(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-02
摘　要				設計者	名　称　（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図		資格者氏名　（株）国吉設計　松田　光博
			宮城		登録番号　一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
					所　在　地　沖縄県名護市字宮里453-7

仮設計画（仮設工事の流れ）

①仮設前解体整備
・仮囲い→設備配管配線の切離し

②仮囲い及び付帯部解体・設備解体
・設備の撤去

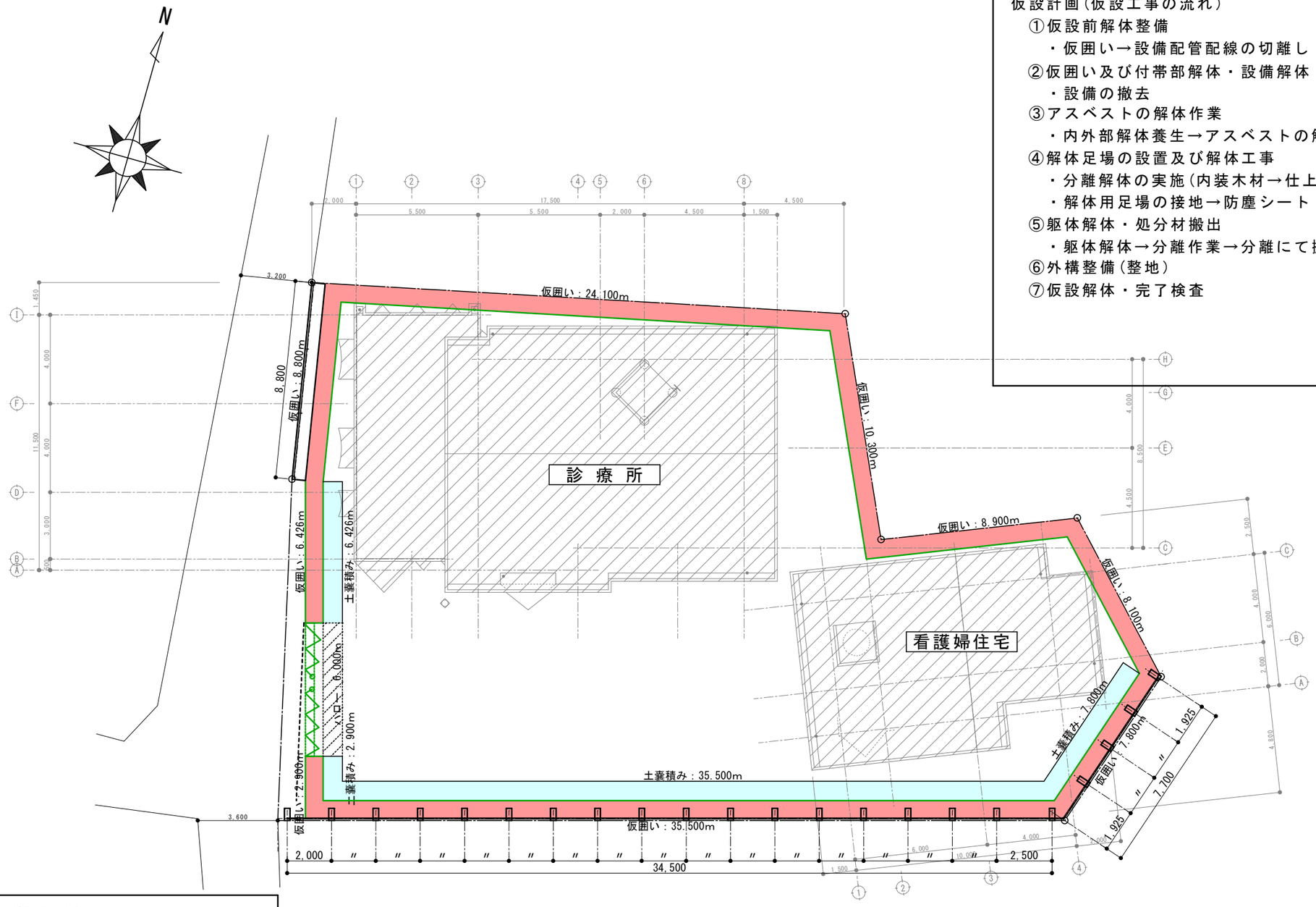
③アスベストの解体作業
・内外部解体養生→アスベストの解体・除去（検査）

④解体足場の設置及び解体工事
・分離解体の実施（内装木材→仕上材→建具の取外し）
・解体用足場の接地→防塵シート

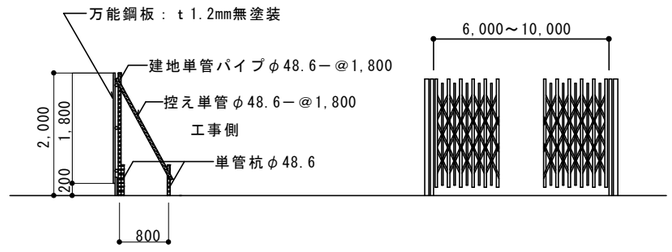
⑤躯体解体・処分材搬出
・躯体解体→分離作業→分離にて搬出処分

⑥外構整備（整地）

⑦仮設解体・完了検査



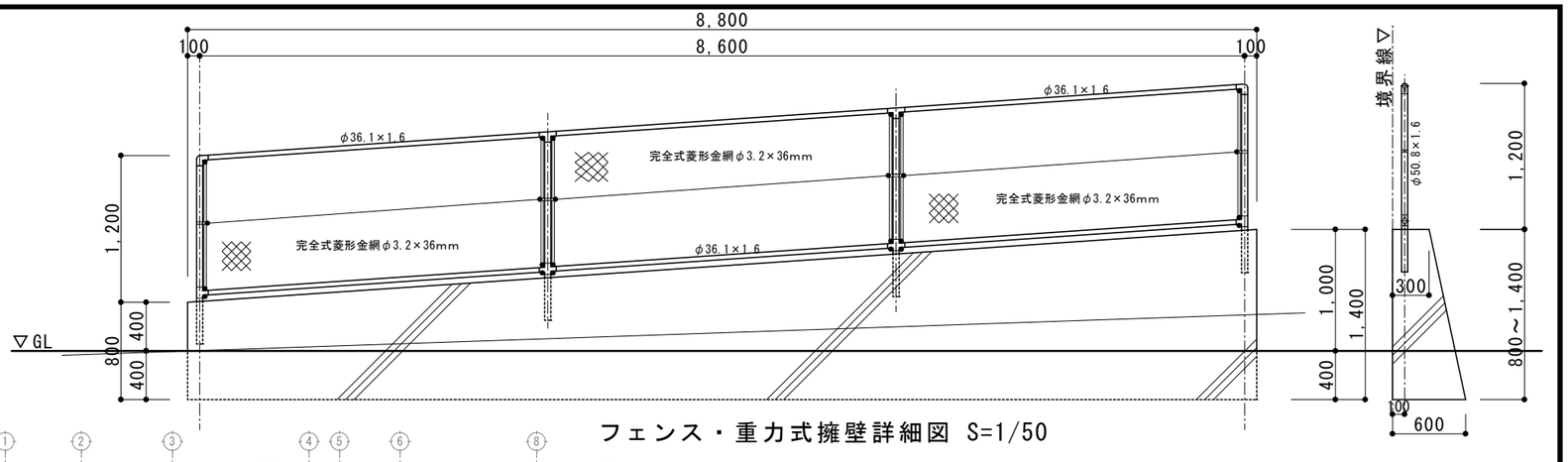
仮囲い（全周）、現場搬入ゲート



仮囲い（外周）　　クロスゲート　1ヶ所

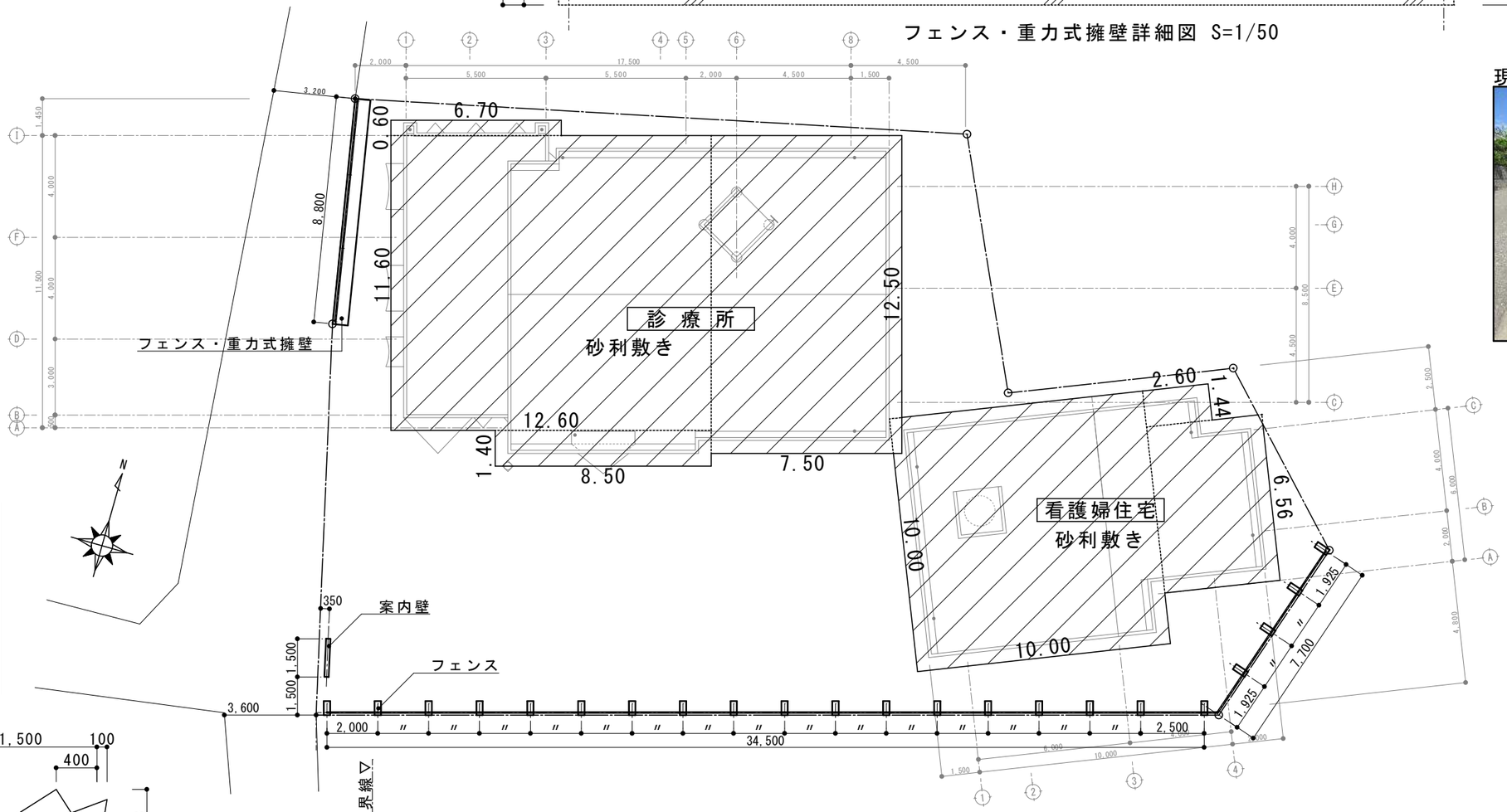
土のう積み　ハーロー　仮囲い

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	仮設計画図 S=1/100(A1)　S=1/200(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-03
摘　要				設計者	名　称：（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図		資格者氏名：（株）国吉設計　松田　光博
			宮城		登録番号：一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
					所在地：沖縄県名護市字宮里453-7

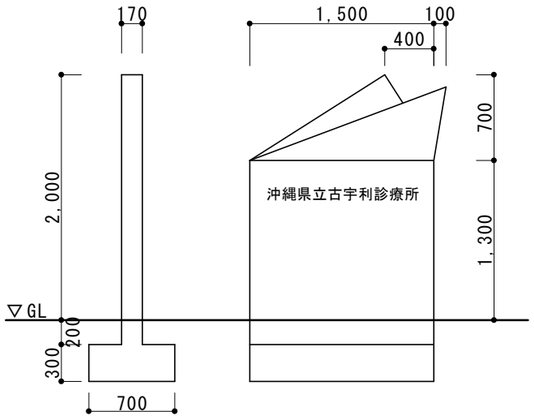


フェンス・重力式擁壁詳細図 S=1/50

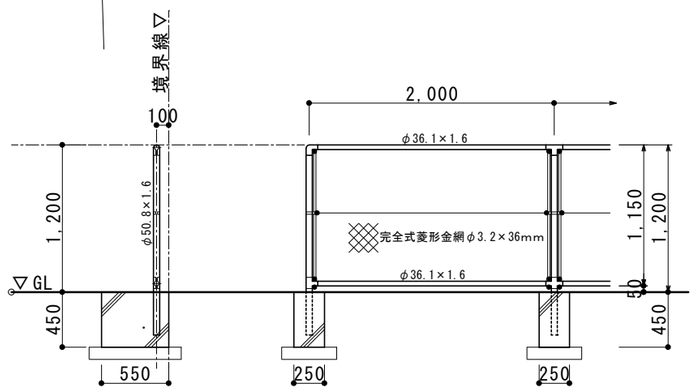
現況写真



現況写真



案内壁詳細図 S=1/50



フェンス詳細図 S=1/50

現況写真

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	外構解体(フェンス・看板) S=1/100(A1)　S=1/200(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-04
摘　要				設計者	名　称　（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図		資格者氏名　（株）国吉設計　松田　光博
			宮城		登録番号　一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
					所　在　地　沖縄県名護市字宮里453-7

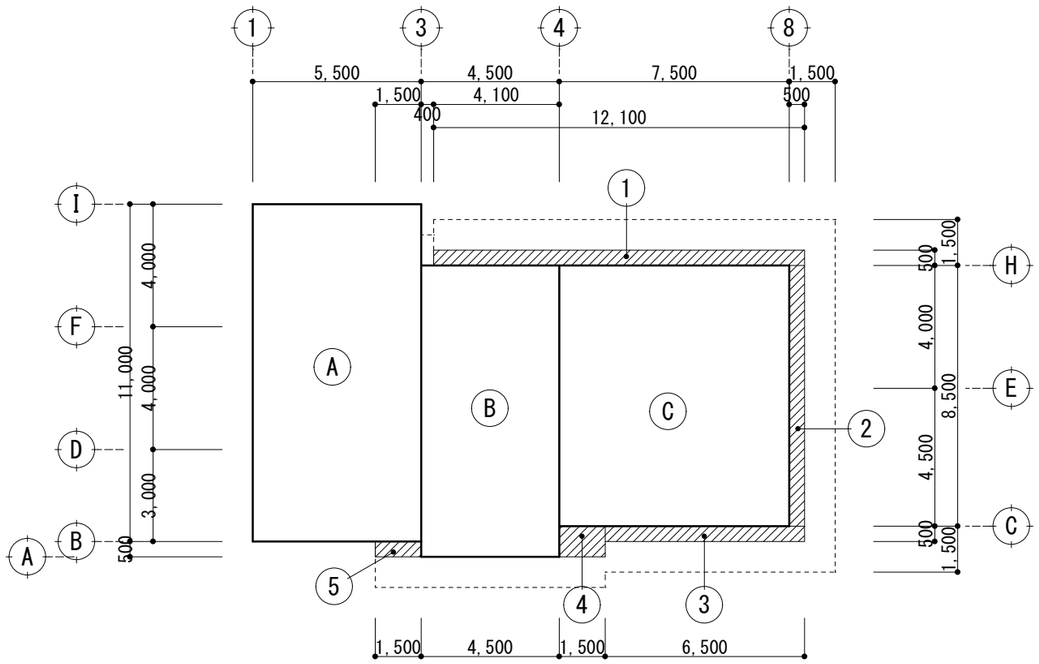
外部仕上表

外壁	150mm CB積み（一部 150mm、180mm ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち）の上、25mm 外壁ﾓﾙﾀﾙ 刷毛引き、複層仕上塗材吹付（合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝ系）		出窓	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上、撥水材吹付	ﾓﾙﾀﾙ仕上材（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
屋根	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押え仕上		縦樋	75Φ 硬質塩ﾋﾞﾊﾞｲﾌﾞ ＶＰ塗り、ｽﾃﾝﾚｽ製支持金物取り付け	
軒裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の後、ＶＰ塗装（Ｂ種）	塗材 下地材（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）	ルーフドレイン	75Φ ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ	
あまはじ、犬走り	100mm ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押え仕上（誘発目地切　15×15　1500@）		水槽点検用タラップ	25Φ ｽﾃﾝﾚｽ製ﾊﾞｲﾌﾟ鏡面仕上げ（400×1700）	
高架水槽架台	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、一部下地処理の上 ＶＰ塗装	ﾓﾙﾀﾙ仕上材（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）	換気口	天井：L型換気ﾊﾞｲﾌﾟ	
植込み	120mm ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、複層仕上塗材吹付				

内部仕上表

室名	床	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 仕上材	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 接着剤	幅木	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 仕上材	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 接着剤	壁 腰壁	壁 中壁	壁 小壁	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 仕上材	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 接着剤	天井	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 仕上材	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 接着剤	天井高	備考
玄関	床施釉ｸﾘﾝｶﾀｲﾙ、150角貼り			25mm ﾃﾗｿﾞﾌﾞﾛｯｸ			20mm ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 ＶＰ塗り	20mm ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 ＶＰ塗り	20mm ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 ＶＰ塗り			9mm 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地（LGS下地） 9mm ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板張り			2,600～3,700	
待合室	2.5mm ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り（ｴﾎﾟｷｼ接着、ﾜｯｸｽ仕上） 一部 15mm 杉板下地 タタミ敷き込み			ﾋﾞﾆﾙ幅木（H=100）		有	同上	5.5mm ﾗﾜﾝ合板下地 掲示用ｸﾛｽ張り	同上			同上			2,600～3,700	※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁・天井）
事務室	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押え仕上の上 2.5mm ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り（ｴﾎﾟｷｼ接着、ﾜｯｸｽ仕上）			同上		有	同上	20mm ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 ＶＰ塗り	同上			同上			2,600～3,300	※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁・天井）
看護婦居室	同上			同上		有	同上	同上	同上			同上			2,600	※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁・天井）
診察室	同上			同上		有	同上	同上	同上			同上			2,600～3,300	※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁・天井）
経過観察室	同上			同上		有	同上	同上	同上			同上			2,550	※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁・天井）
処置室	同上			同上		有	同上	同上	同上			同上			2,550	※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁・天井）
レントゲン室	同上			同上		有	同上	同上	同上			6mm 無石綿ｽﾗｸﾞｾﾒﾝﾄ板目透し張り ＶＰ塗り（Ｂ種）			2,800	※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁・天井）
現像室	同上			同上		有	同上	同上	同上			5mm ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板目透し張り ＶＰ塗り（Ｂ種）	有		2,600	※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁）
便所	床磁器質無釉ﾀｲﾙ、100角張り			―――			陶器質施釉釉ﾀｲﾙ 100角張り	陶器質施釉釉ﾀｲﾙ 100角張り	陶器質施釉釉ﾀｲﾙ 100角張り			同上	有		2,400	※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁）

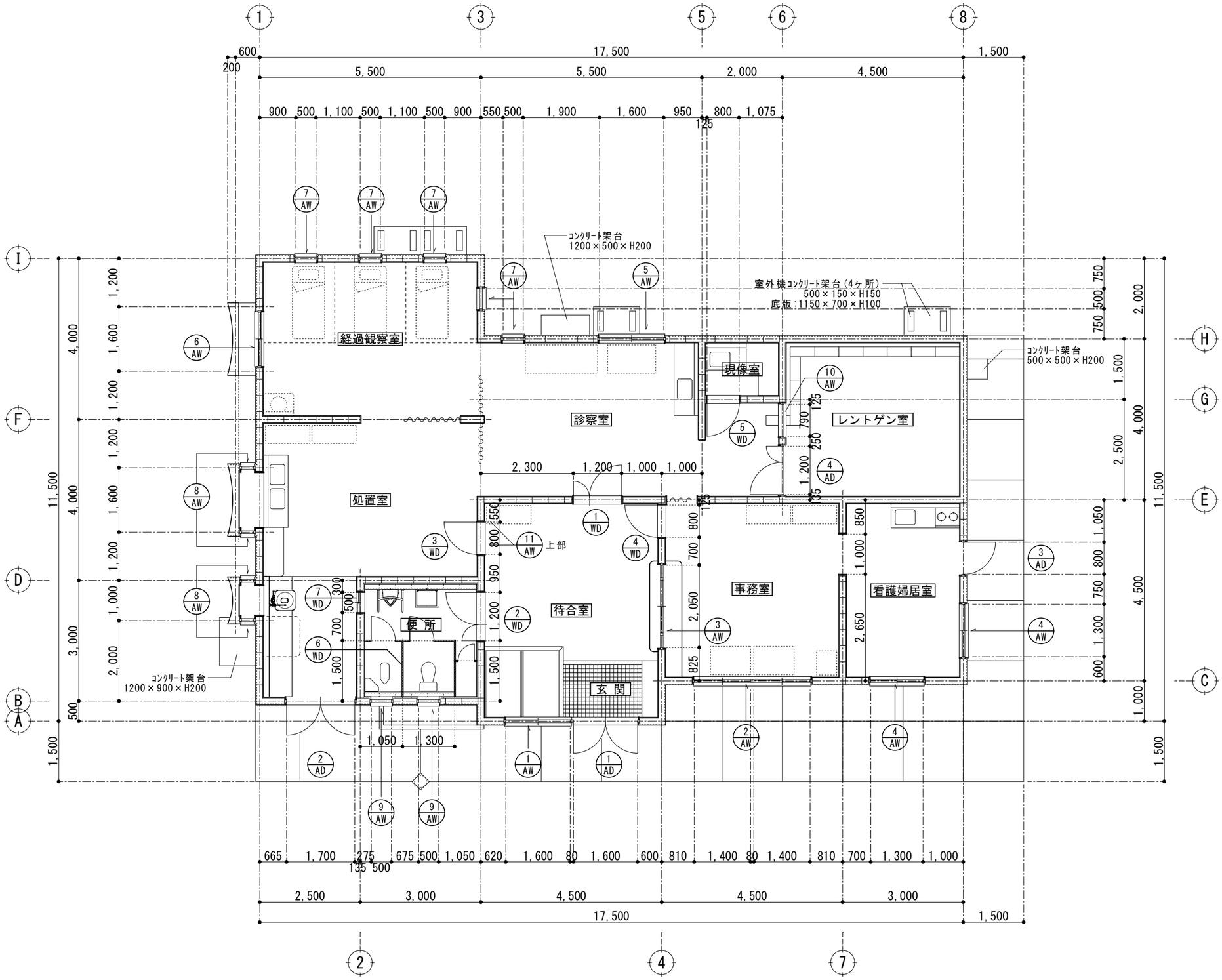
※アスベスト箇所



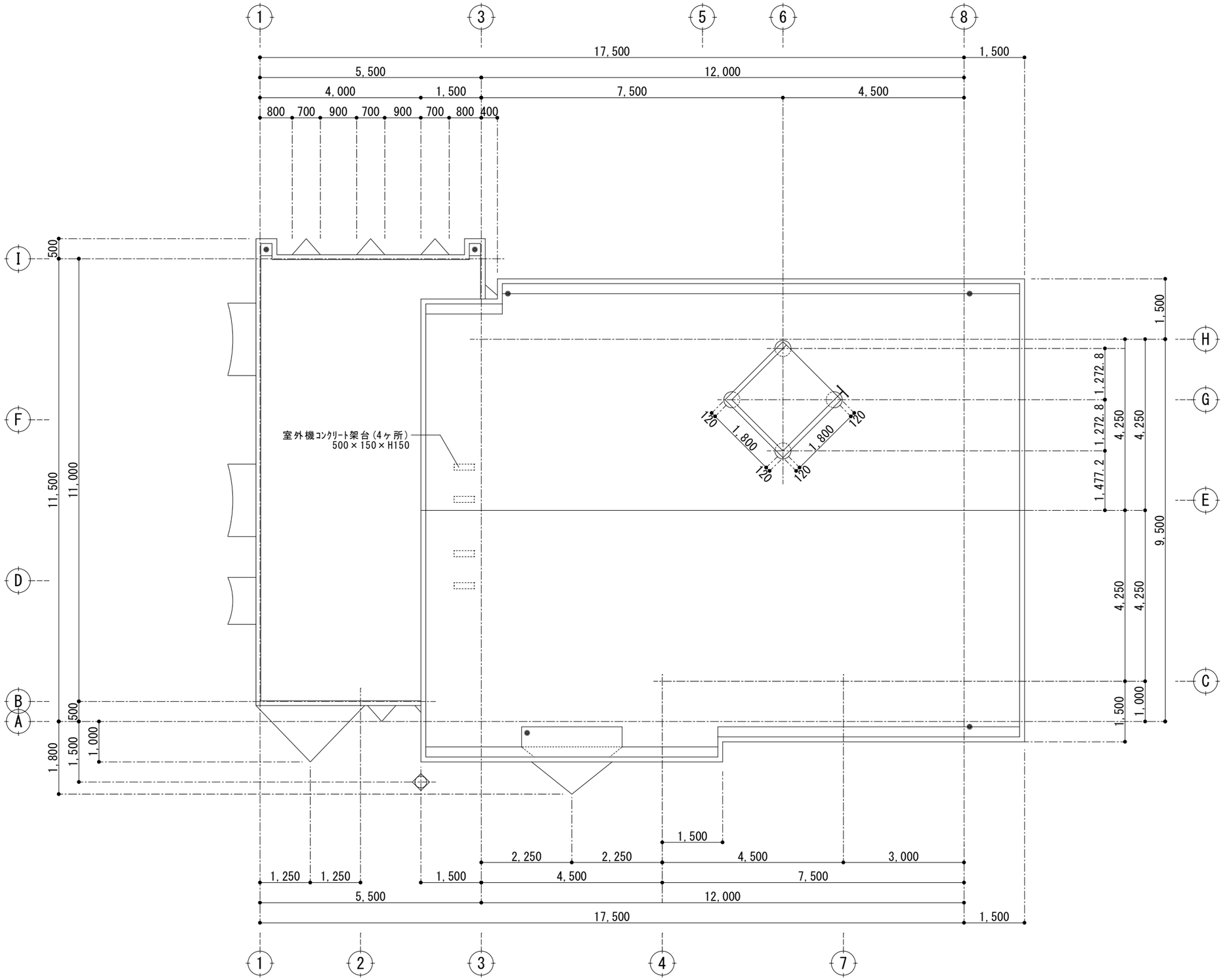
延床面積				
Ⓐ	5.50 × 11.00	=	60.50	
Ⓑ	4.50 × 9.50	=	42.75	
Ⓒ	7.50 × 8.50	=	63.75	
		合計	167.00 ㎡	

建築面積				
	床面積より		167.00 ㎡	
①	12.10 × 0.50	=	6.05	
②	8.50 × 0.50	=	4.25	
③	6.50 × 0.50	=	3.25	
④	1.50 × 1.00	=	1.50	
⑤	1.50 × 0.50	=	0.75	
		合計	182.80 ㎡	

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称	診療所 仕上表・求積図
発注機関	沖縄県立北部病院			縮尺	S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
摘要				図面番号	K-05
検印	管理建築士	設計	製図	設計者 名称	（株）国吉設計
			宮城	資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
				登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所在地	沖縄県名護市字宮里453-7

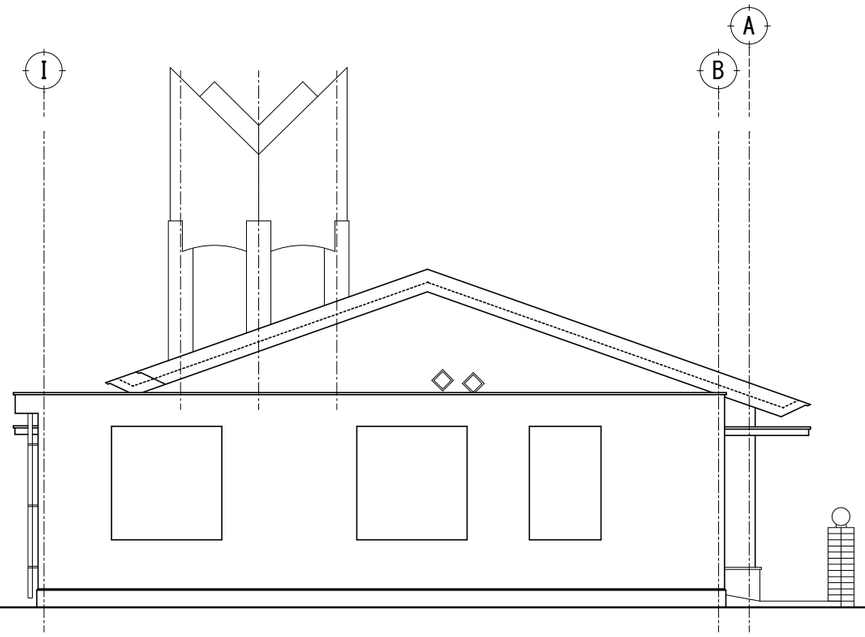


工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	診療所 平面図 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-06
摘　要				設計者	名　称：（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図		資格者氏名：（株）国吉設計　松田　光博
			宮城		登録番号：一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
					所在地：沖縄県名護市字宮里453-7

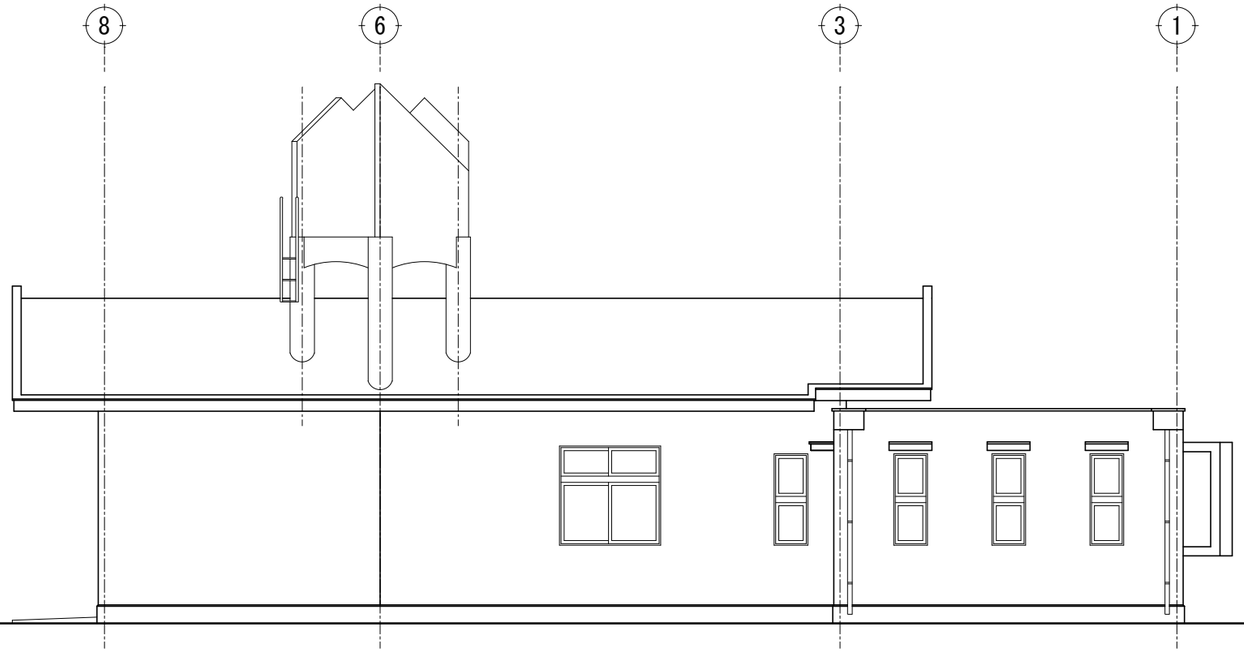


工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	診療所　屋根伏図 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-07
摘　要				設計者 名　称	(株) 国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	(株) 国吉設計　松田　光博
			宮城	登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所在地	沖縄県名護市字宮里453-7

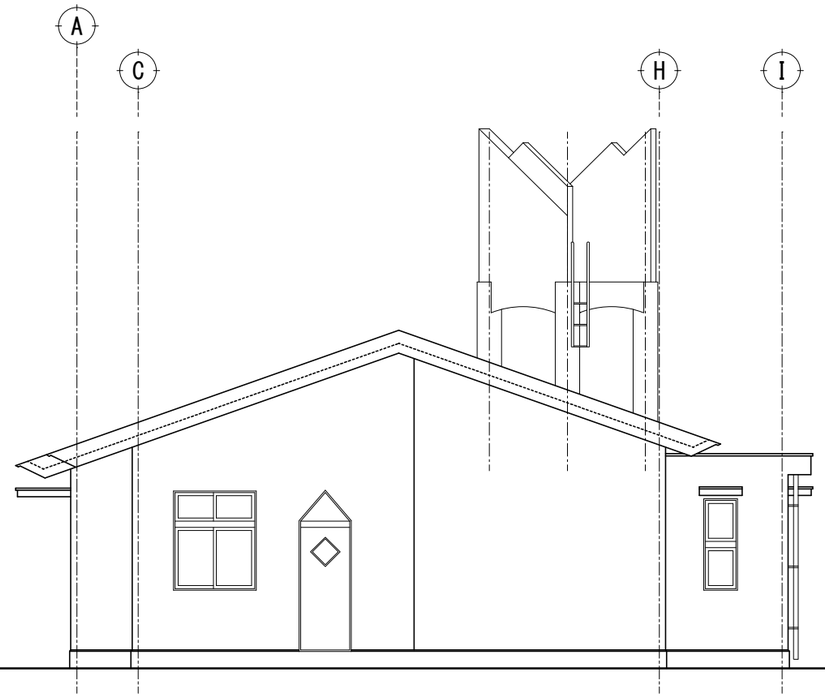
南 立面図　　S=1/100



西 立面図　　S=1/100

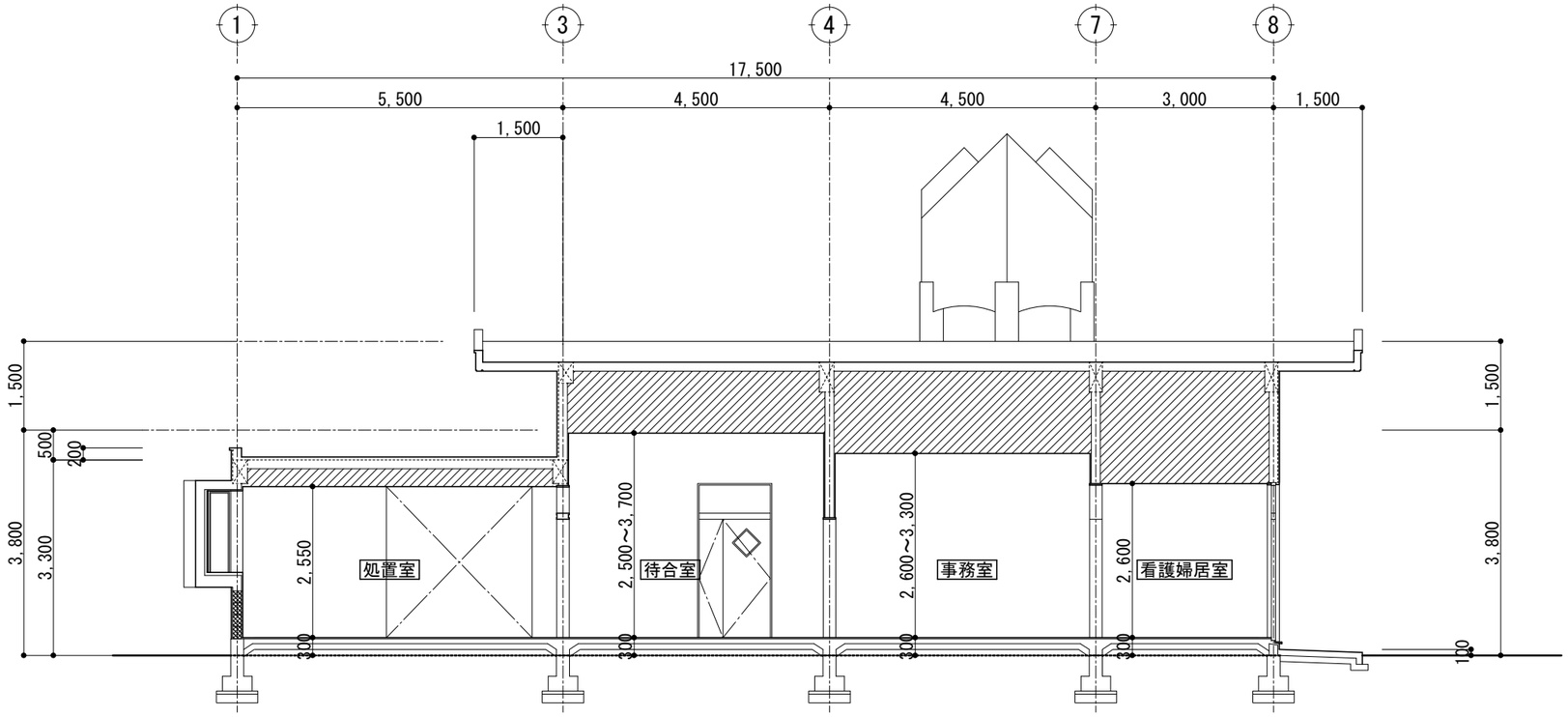


北 立面図　　S=1/100

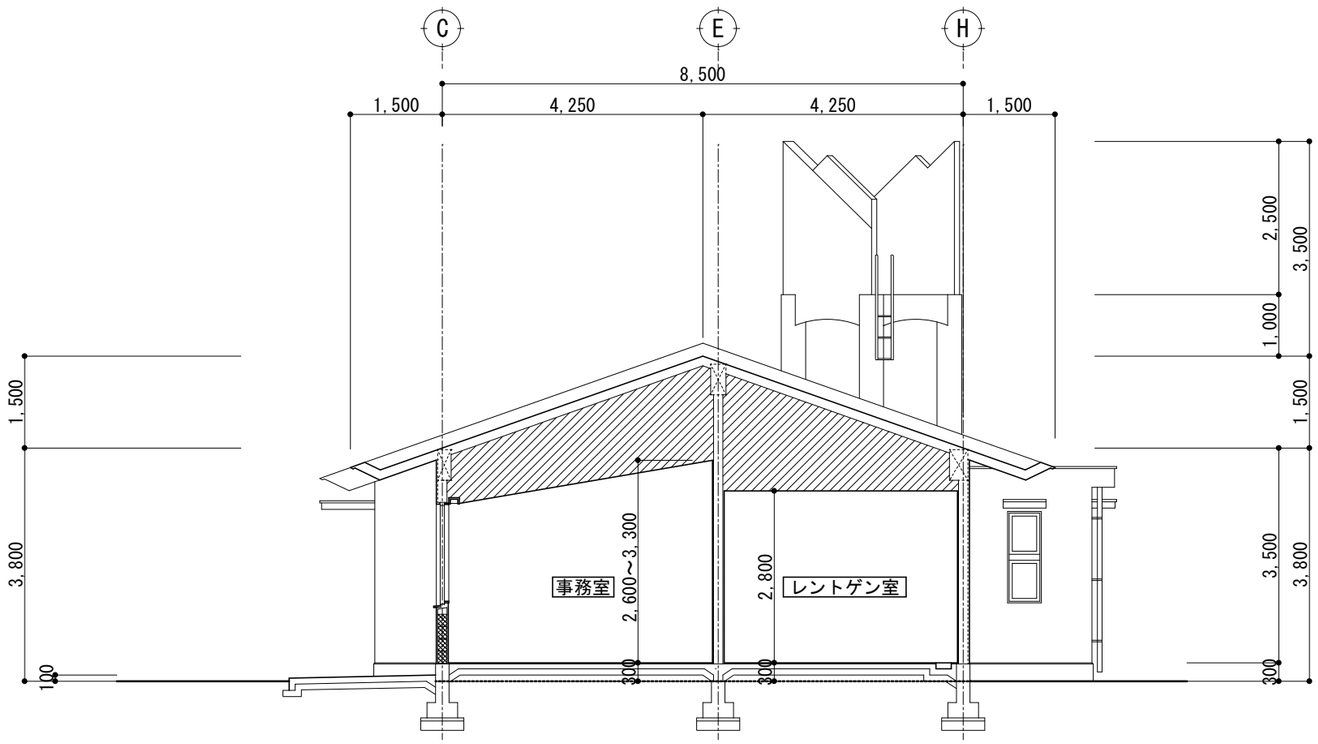


東 立面図　　S=1/100

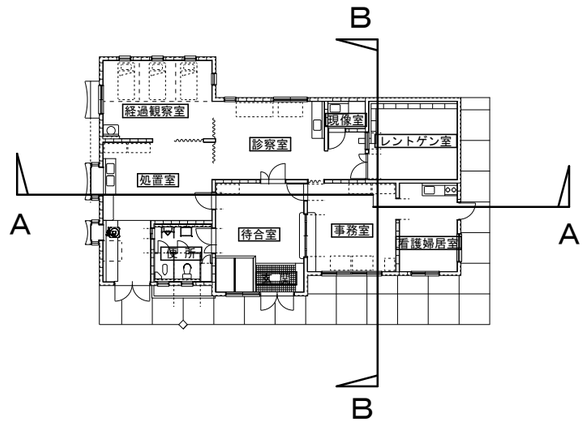
工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度	
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	診療所 立面図 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)	
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-08	
摘　要				設計者	名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図		資格者氏名	（株）国吉設計　　松田　光博
			宮城		登録番号	一級建築士　　第　166087　号
						一級建築士事務所　第　10Y-157　号
					所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7



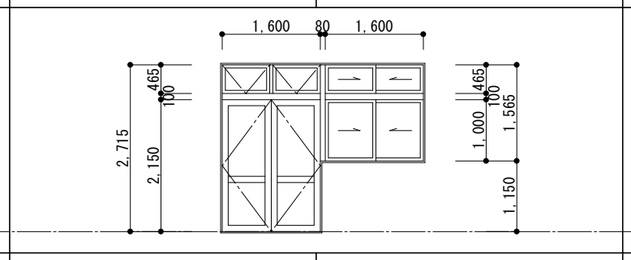
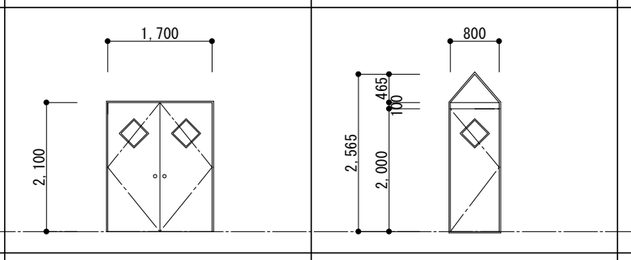
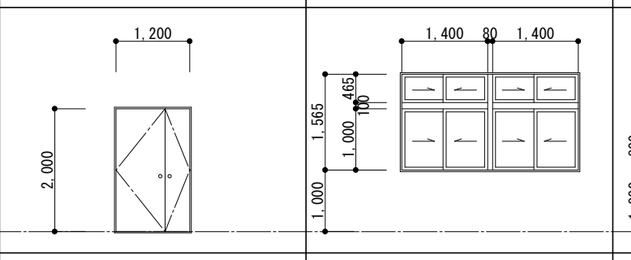
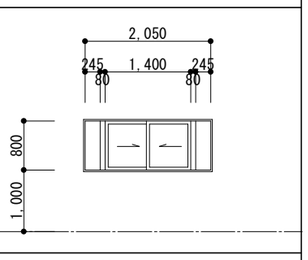
A 断面図

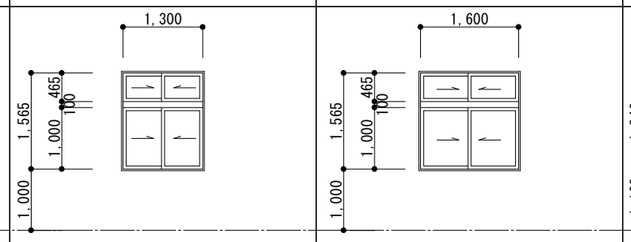
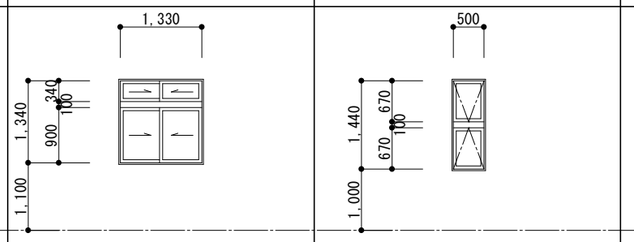
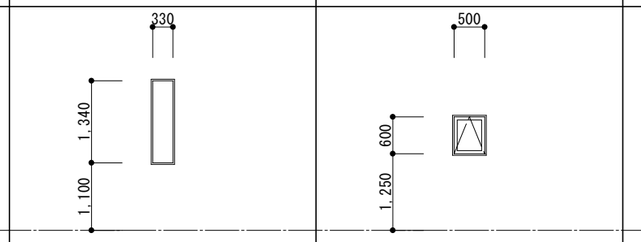
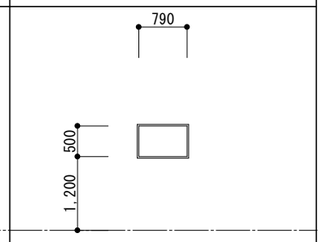


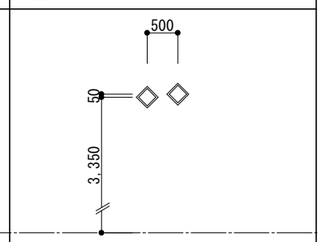
B 断面図



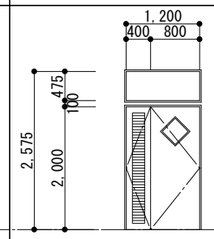
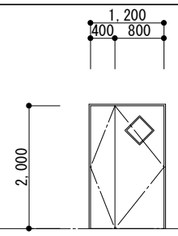
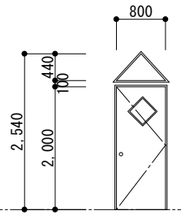
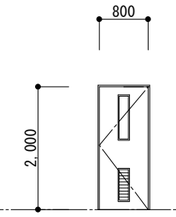
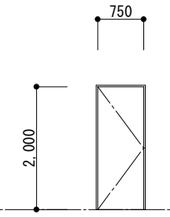
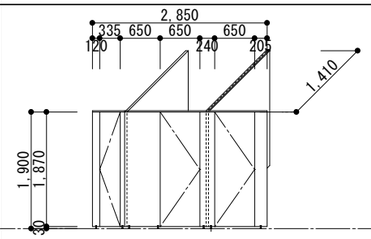
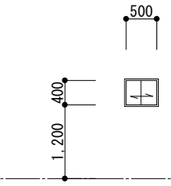
工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	診療所 断面図 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-09
摘　要				設計者 名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
			宮城	登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7

符号 室名 数量	1/AD 待合室 1箇所	1/AW 待合室 1箇所	2/AD 処置室 1箇所	3/AD 看護婦居室 1箇所	4/AD レントゲン室 1箇所	2/AW 事務室 1箇所	3/AW 事務室 1箇所
外観図							
型式・見込	両開き框ドア+外倒しランマ付 100mm	引違いランマ付引違い窓 100mm	両開きフラッシュドア 100mm	片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ+FIXランマ付き 70mm	放射線防護ドア(ﾚｲﾌﾟﾛｯﾄﾄﾞｱ) 70mm	引違いランマ付引違い窓 100mm	引違い窓+両袖FIX 70mm
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	スチール	アルミ	アルミ
金物							
備考	片面木製額縁(3)	可動網戸付 片面木製額縁(4)	片面木製額縁(3)	片面木製額縁(3)	片面木製額縁(3)	可動網戸付 片面木製額縁(4)	

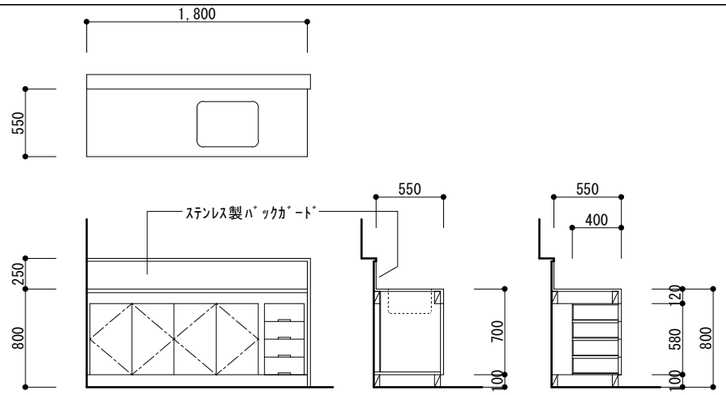
符号 室名 数量	4/AW 看護婦居室 2箇所	5/AW 診察室 1箇所	6/AW 経過観察室 1箇所	7/AW 経過観察室、診察室 5箇所	8/AW 処置室 4箇所	9/AW 便所 2箇所	10/AW レントゲン室 1箇所
外観図							
型式・見込	引違いランマ付引違い窓 70mm	引違いランマ付引違い窓 70mm	引違いランマ付引違い窓 70mm	外倒しランマ付スベリ出し窓 70mm	FIX窓 70mm	スベリ出し窓 70mm	放射線防護覗き窓 70mm
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	スチール
金物							
備考	可動網戸付 片面木製額縁(4)	可動網戸付 片面木製額縁(4)	可動網戸付 片面木製額縁(4)	片面木製額縁(4)	片面木製額縁(4)	片面木製額縁(4)	

符号 室名 数量	11/AW 待合室 2箇所
外観図	
型式・見込	FIX窓 琉球ガラス200角 70mm
仕上	アルミ
金物	
備考	

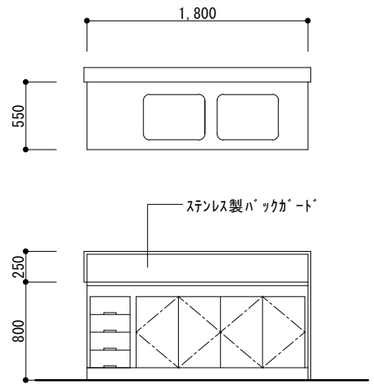
工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	診療所 金属製建具表 S=1/50(A1) S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-10
摘　要				設計者 名　称	(株) 国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	(株) 国吉設計　松田　光博
			宮城	登録番号	一級建築士　第　166087　号 一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7

符号 室名 数量	1 WD 待合室 1箇所	2 WD 待合室 1箇所	3 WD 待合室 1箇所	4 WD 待合室 1箇所	5 WD 現像室 1箇所	6 WD トイレブース 1箇所	1 GW 便所 1箇所
外観図 ▽FL							
型式・見込	両開きﾌﾗｯｼｭ親子ﾄﾞｱ+FIXﾗﾝﾏ付 40mm	両開きﾌﾗｯｼｭ親子ﾄﾞｱ 40mm	片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ+FIXﾗﾝﾏ付 40mm	片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 40mm	片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 40mm	トイレブース（常閉式外開き扉） 70mm	ガラス引違い窓
仕上	ＯＰ	ＯＰ	ＯＰ	ＯＰ	ＯＰ		ＯＰ
ガラス	型板ガラス	型板ガラス	型板ガラス	型板ガラス			型板ガラス
備考							

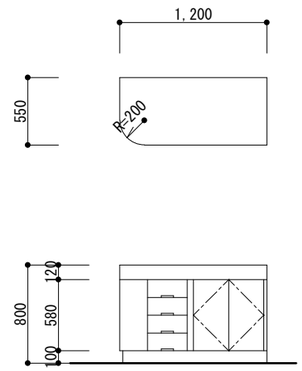
診察室：ステンレス製流し付カウンター S=1/50



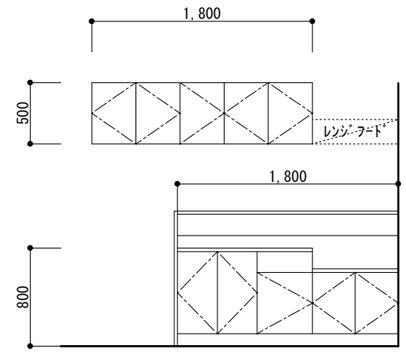
処置室：ステンレス製流し付カウンター S=1/50



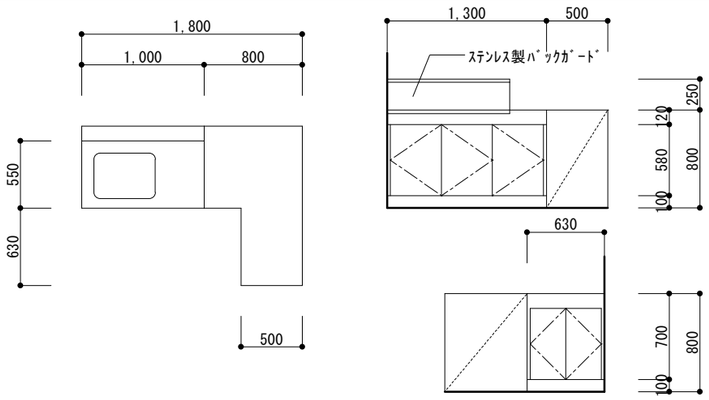
処置室：カウンター　下部引き出し付 S=1/50



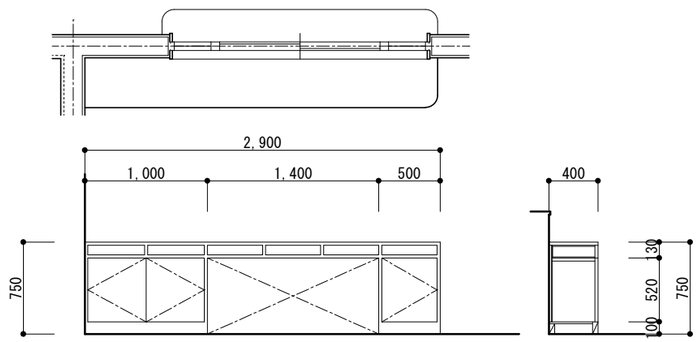
看護婦居室：流し台、吊戸棚 S=1/50



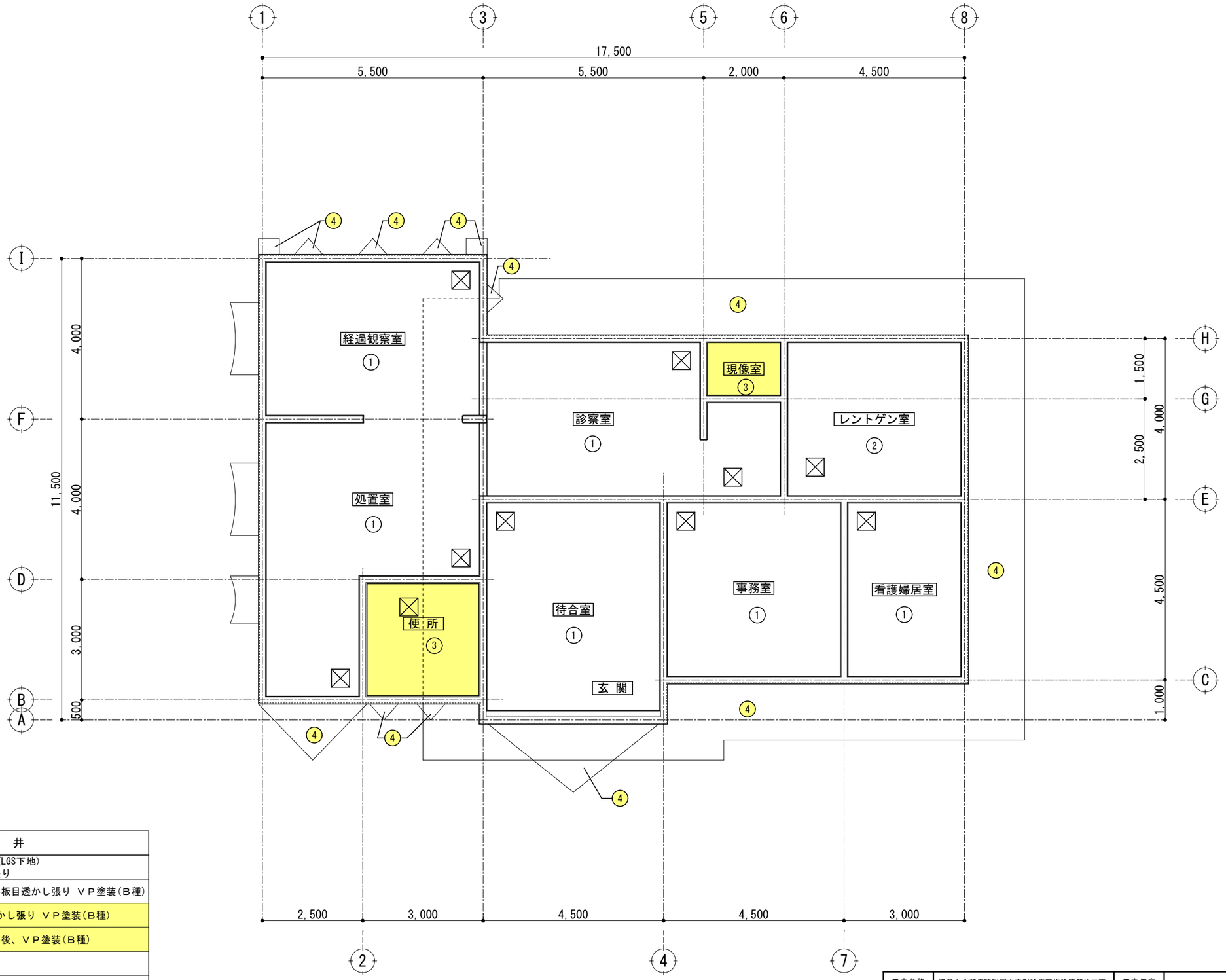
現像室：ステンレス製流し付カウンター S=1/50



事務室：木製カウンター　下部引き出し付 S=1/50



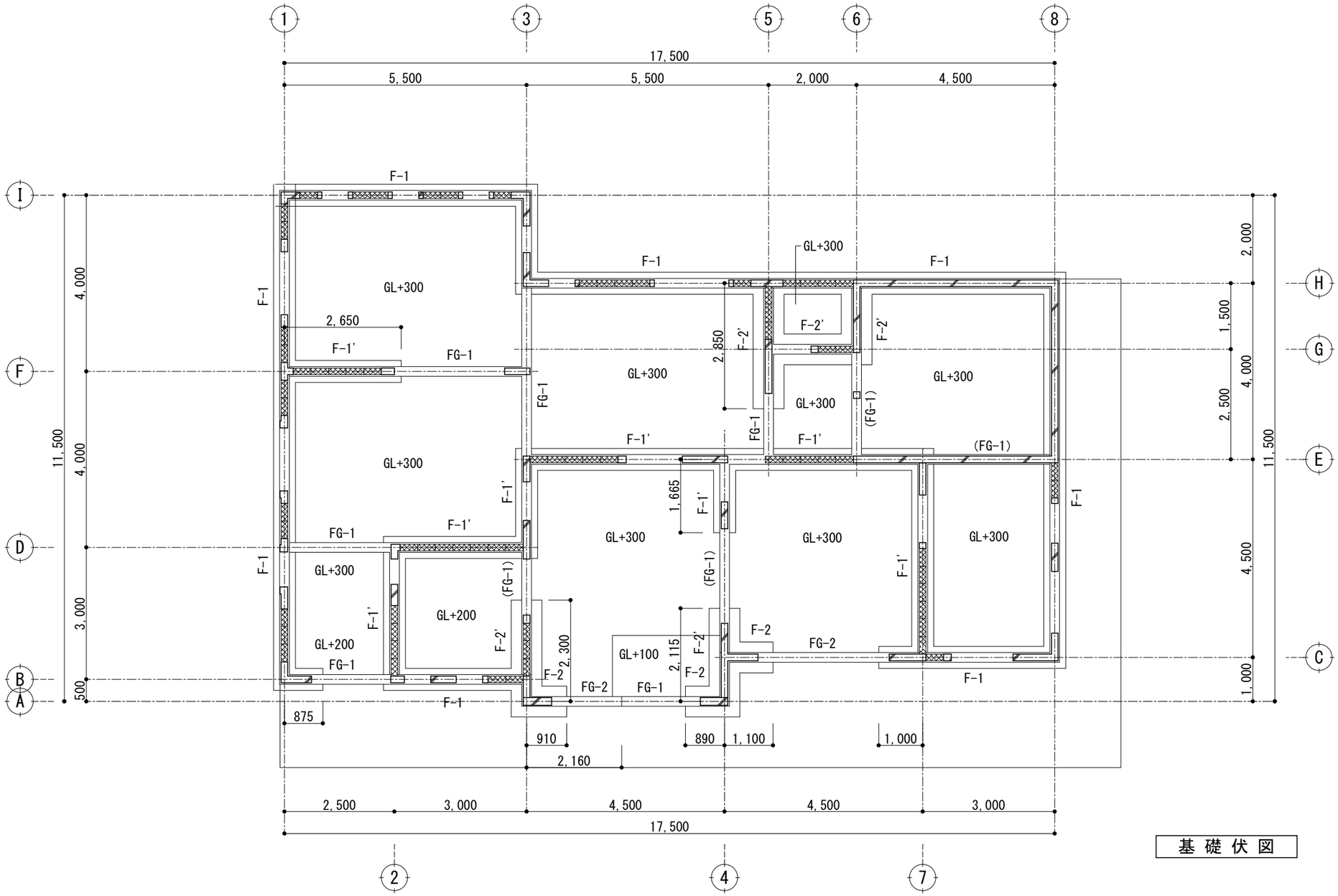
工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	診療所 木製建具表 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-11
摘　要				設計者 名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
			宮城	登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所在地	沖縄県名護市字宮里453-7



天　井	
①	9mm 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地(LGS下地) 9mm ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板張り
②	6mm 無石綿ｽﾗｸﾞｾﾒﾝﾄ板目透かし張り ＶＰ塗装(Ｂ種)
③	5mm ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板目透かし張り ＶＰ塗装(Ｂ種)
④	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の後、ＶＰ塗装(Ｂ種)
☒	ｱﾙﾐ製点検口　450角
▭	天井換気 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊﾟｲﾌﾟ(内径 50Φ)

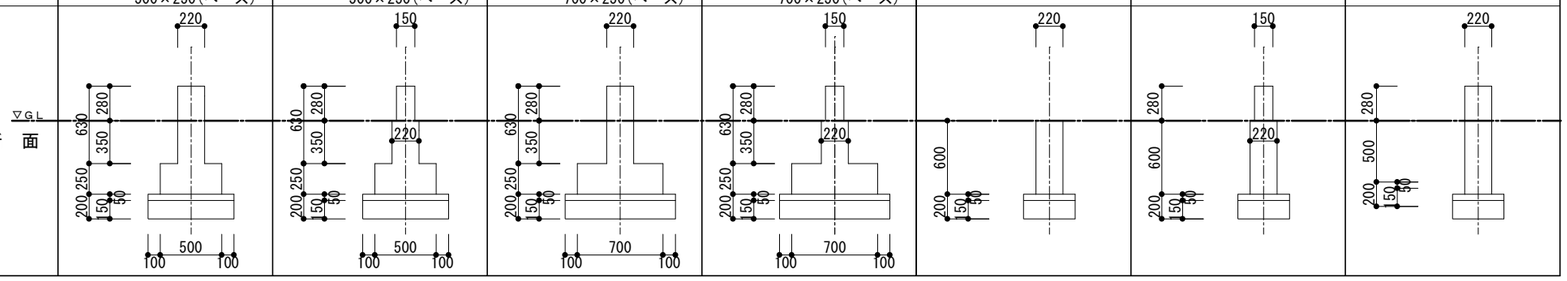
※アスベスト箇所

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	診療所 天井伏図 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-12
摘　要				設計者 名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
			宮城	登録番号	一級建築士　第　166087　号 一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7

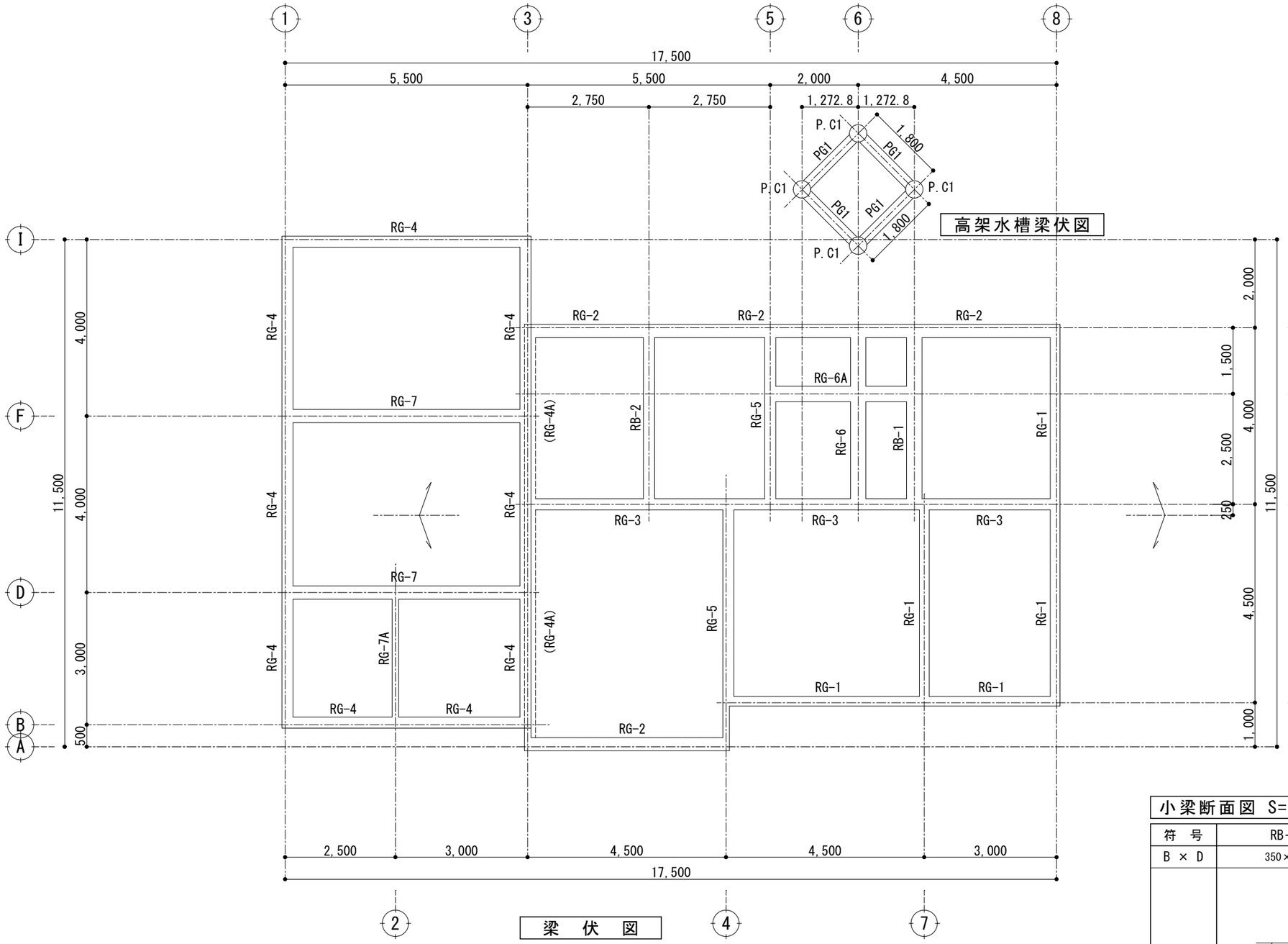


基 礎 伏 図

基礎断面図 S=1/50

符　号	F－1	F－1'	F－2	F－2'	FG－1	(FG－1)	FG－2
B × D	220×630 500×250(ベース)	220×350 500×250(ベース)	220×630 700×250(ベース)	220×350 700×250(ベース)	220×600	220×600	220×880
断　面							

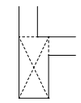
工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	診療所 基礎伏図、断面リスト S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-13
摘　要				設計者 名　称	(株) 国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	(株) 国吉設計　松田　光博
			宮城	登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7

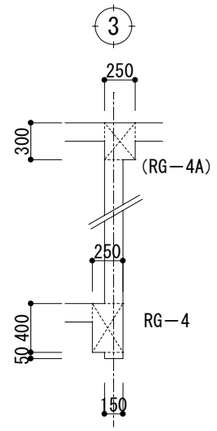


梁　伏　図

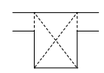
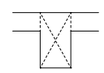
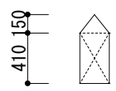
高架水槽梁伏図

部材断面図 S=1/50

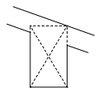
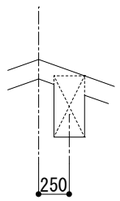
符　号	PG1	P.C1
B × D	240×400～500	φ400
断　面		



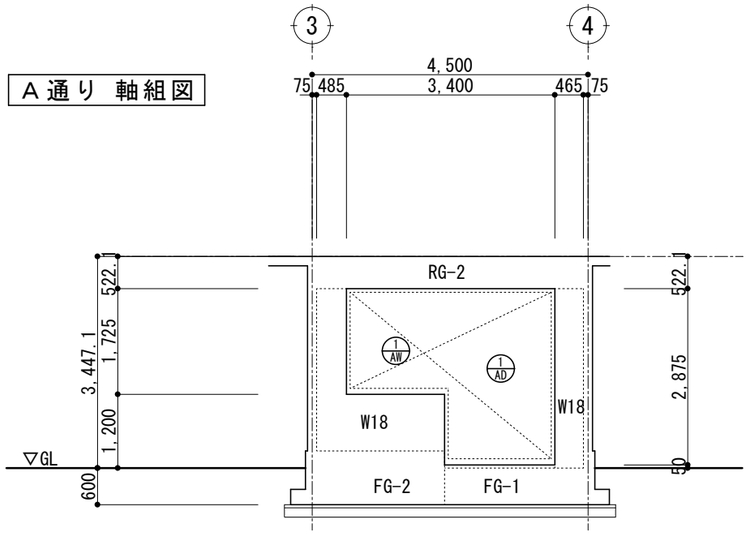
小梁断面図 S=1/50

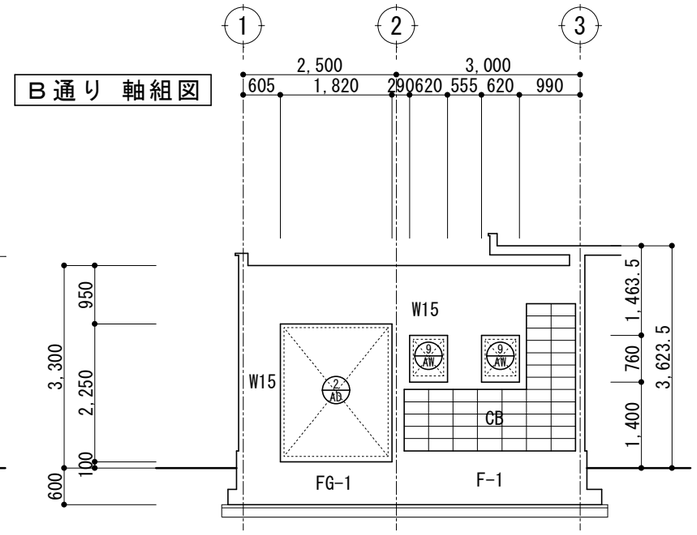
符　号	RB−1	RB−2	RB−3
B × D	350×450	250×450	240×410
断　面			

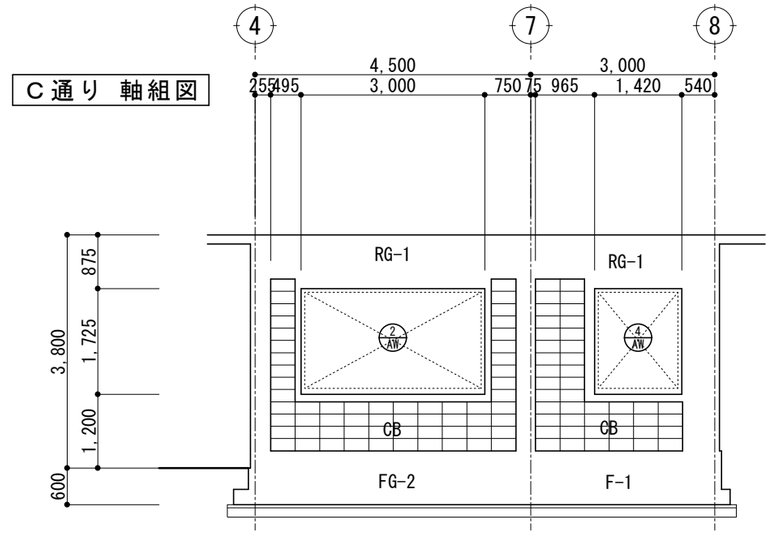
梁断面図 S=1/50

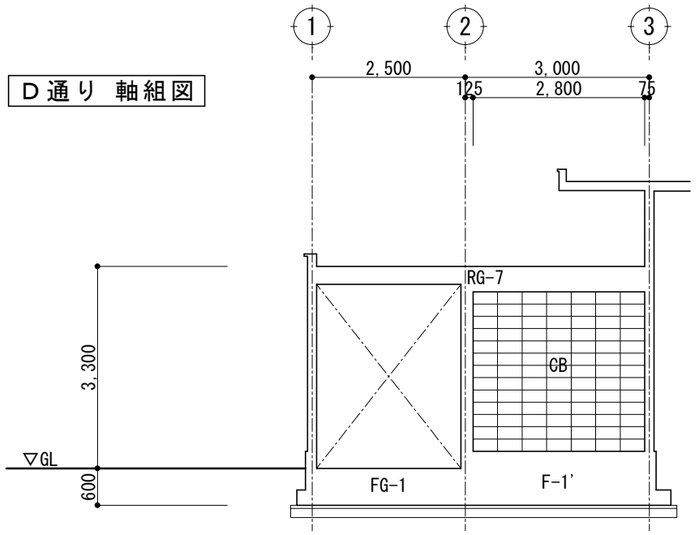
符　号	RG−1	RG−2	RG−3	RG−5	RG−6	RG−6A	RG−7	RG−7A
B × D	220×500	300×500	250×500	250×500	350×500	350×450	300×300	150×300
断　面								

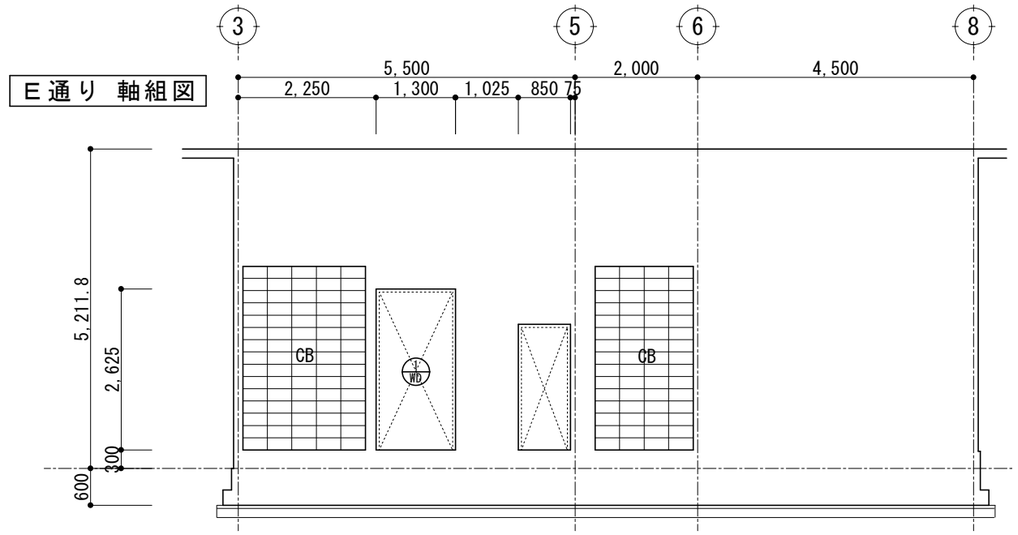
工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	診療所 梁伏図、断面リスト S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-14
摘　要				設計者 名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
			宮城	登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7

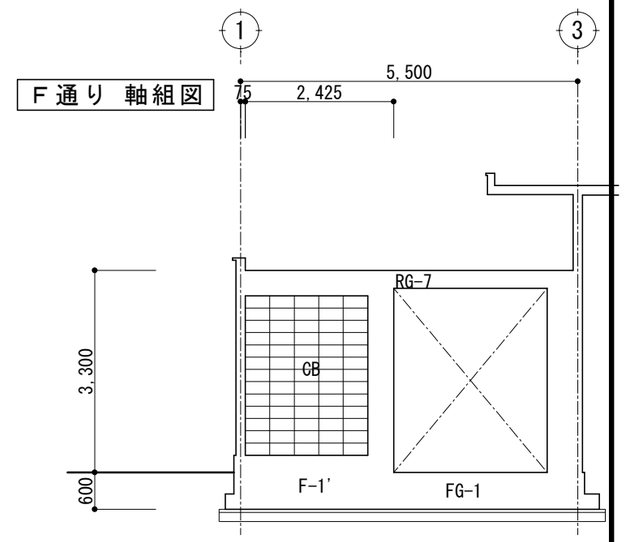


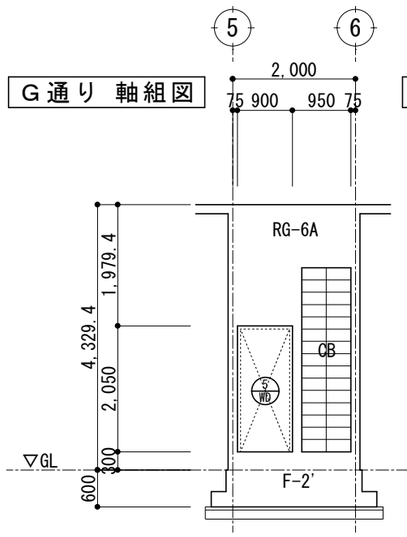


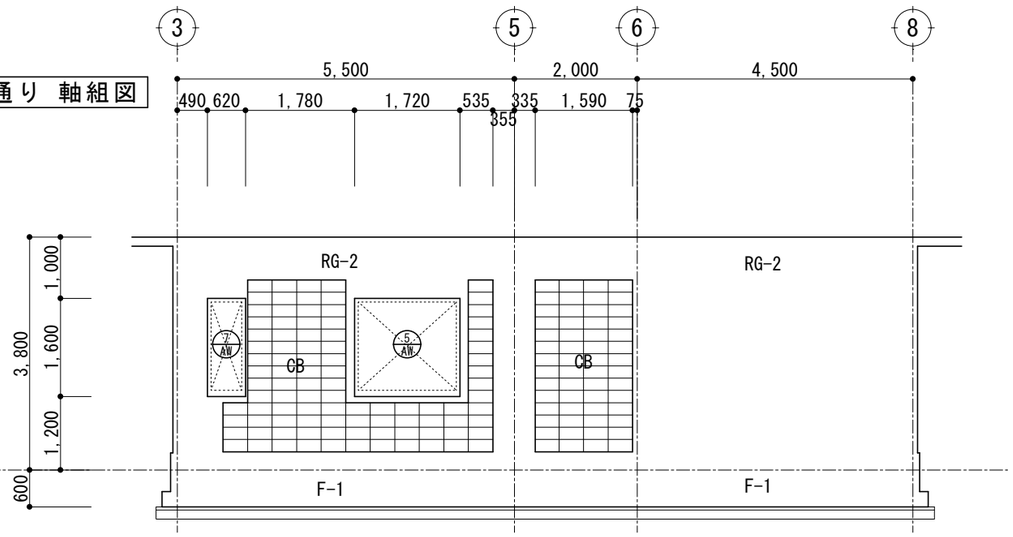




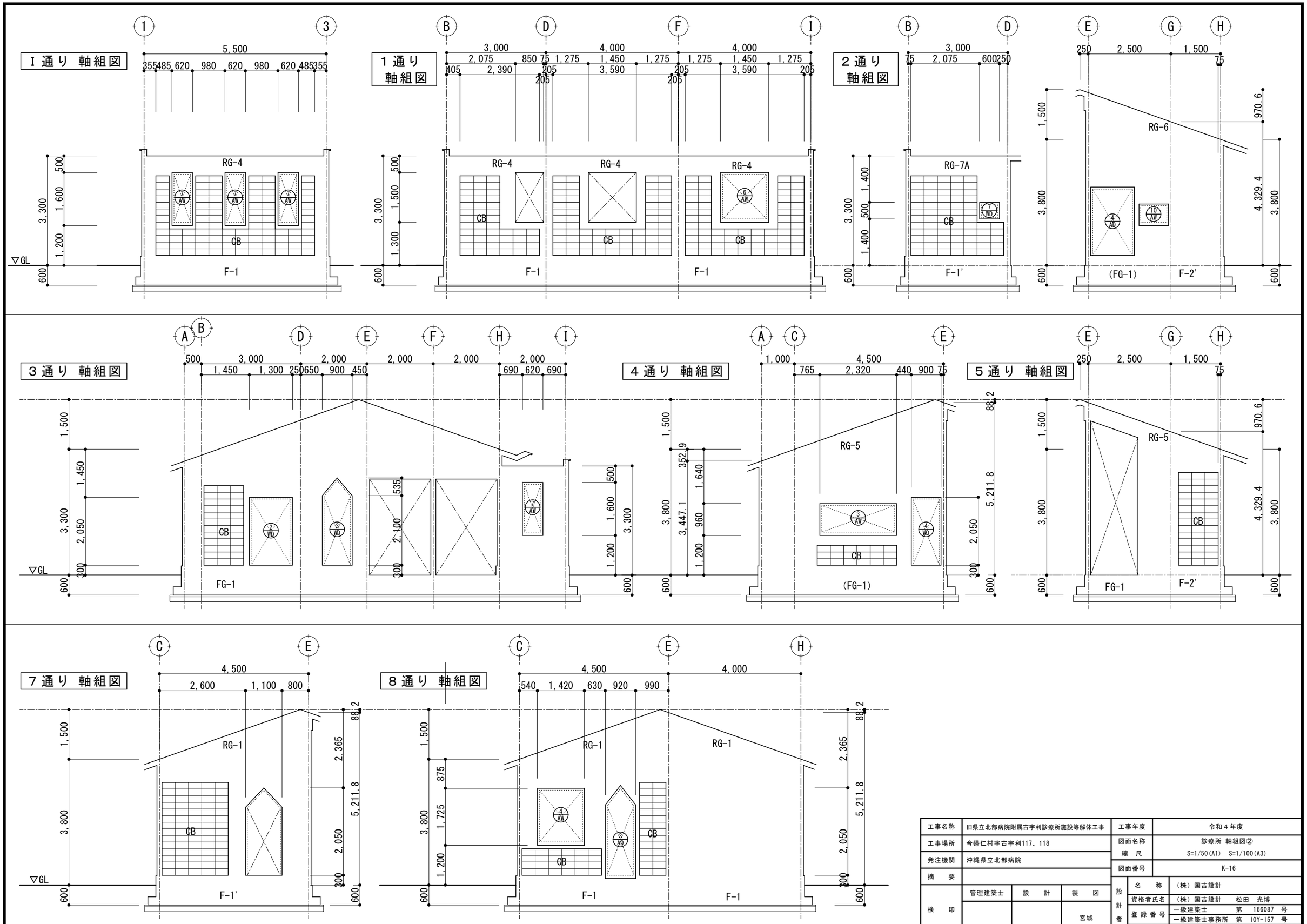








工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称	診療所 軸組図①
発注機関	沖縄県立北部病院			縮 尺	S=1/50(A1) S=1/100(A3)
摘 要				図面番号	K-15
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設計者	名 称 （株）国吉設計
			宮城		資格者氏名 （株）国吉設計 松田 光博
					登録番号 一級建築士 第 166087 号
					一級建築士事務所 第 10Y-157 号
					所 在 地 沖縄県名護市字宮里453-7



工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事	工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118	図面名称	診療所 軸組図②
発注機関	沖縄県立北部病院	縮尺	S=1/50(A1) S=1/100(A3)
摘要		図面番号	K-16

検印	管理建築士	設計	製図
			宮城

設計者		
	名称	(株)国吉設計
	資格者氏名	(株)国吉設計 松田 光博
	登録番号	一級建築士 第 166087 号
		一級建築士事務所 第 10Y-157 号
	所在地	沖縄県名護市字宮里453-7

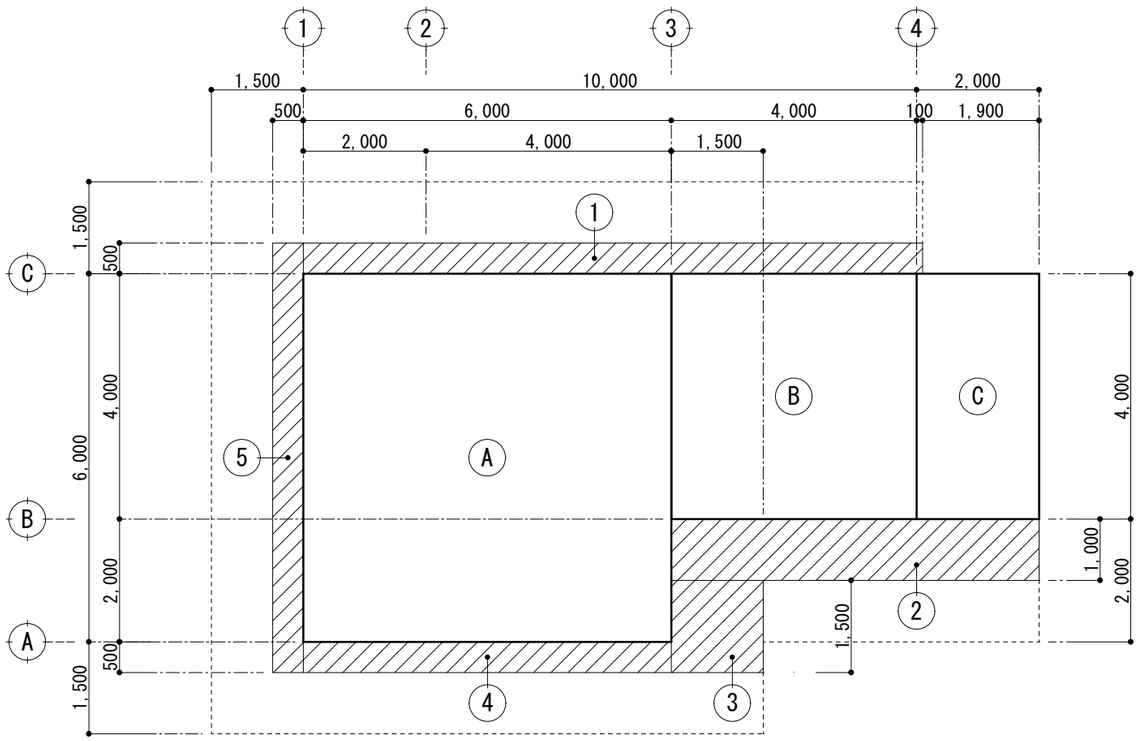
外部仕上表

外壁	150mm CB積み（一部 150mm ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち）の上、25mm 外壁ﾓﾙﾀﾙ 刷毛引き、複層仕上塗装吹付（合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝ系）		オープンテラス	100mm ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押え仕上、一部 階段 磁器質釉タイル張り（150×60）	
屋根	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押え仕上		物干しスペース	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上、390角 花ﾌﾞﾛｯｸ化粧積み、物干し金物 取付用ｽﾃﾝﾚｽﾎﾞﾙﾄ埋込（4ヵ所）	ﾓﾙﾀﾙ仕上材（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
軒裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の後、ＶＰ塗装（Ｂ種）	塗材 下地材（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）	縦樋	75Φ 硬質塩ﾋﾞﾊﾞｲﾌﾞ ＶＰ塗り、ｽﾃﾝﾚｽ製支持金物取り付け	
あまはじ、犬走り	100mm ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押え仕上（誘発目地切 15×15 1500@）		ルーフドレイン	75Φ ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ	
高架水槽架台	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、一部下地処理の上 ＶＰ塗装		水槽点検用タラップ	25Φ ｽﾃﾝﾚｽ製ﾊﾟｲﾌﾟ鏡面仕上げ（400×1700）	
水切皿板	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、190角異形ﾌﾞﾛｯｸ化粧積み（内部ＶＰ塗装）		換気口	天井：L型換気ﾊﾟｲﾌﾟ　床下：換気用ﾌﾞﾛｯｸ（ｽﾃﾝﾚｽ製防虫網付）	

内部仕上表

室名	床	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 仕上材	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 接着剤	幅木	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 仕上材	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 接着剤	壁	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 仕上材	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 接着剤	天井	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 仕上材	ｱｽﾍﾞｽﾄ有無 接着剤	天井高	備考
玄関	床施釉ｸﾘﾝｶﾀｲﾙ、150角貼り			―――			4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り（横張り）			9mm 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地（LGS下地） 9mm ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板張り				
居間兼台所	15mm ﾍﾞﾝｵｰｸﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ乱尺張り、ｳﾚﾀﾝ仕上			ﾗﾜﾝ幅木CL（18×60）			4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り（横張り）			9mm 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地（LGS下地） 9mm ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板張り			2,500～3,300	
和室	15mm 杉板下地、ﾀﾀﾐ敷き込み			ﾗﾜﾝ幅木CL（18×60）			4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り（横張り）			12mm 化粧ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板張り（和風天）			2,450	
洗面室	15mm ﾍﾞﾝｵｰｸﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ乱尺張り、ｳﾚﾀﾝ仕上			ﾗﾜﾝ幅木CL（18×60）			4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り（横張り） 一部、壁陶器質無釉ﾀｲﾙ、100角張り			9mm 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地（LGS下地） 9mm ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板張り			2,500	
浴室	床磁器質無釉ﾀｲﾙ、100角張り			―――			壁陶器質無釉ﾀｲﾙ、100角張り			発砲樹脂裏打硬質塩ﾋﾞﾊﾞﾈﾙ張り（ﾊﾞｽﾘﾌﾞ）			2,400	
便所	床磁器質無釉ﾀｲﾙ、100角張り			―――			壁陶器質無釉ﾀｲﾙ、100角張り			発砲樹脂裏打硬質塩ﾋﾞﾊﾞﾈﾙ張り（ﾊﾞｽﾘﾌﾞ）			2,300	
押入	9mm ﾗﾜﾝ合板の上、4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り			―――			4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り			4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り				
タンス	9mm ﾗﾜﾝ合板の上、4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り			―――			4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り			4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り				※ｱｽﾍﾞｽﾄ養生ｼｰﾄ張（床・壁）

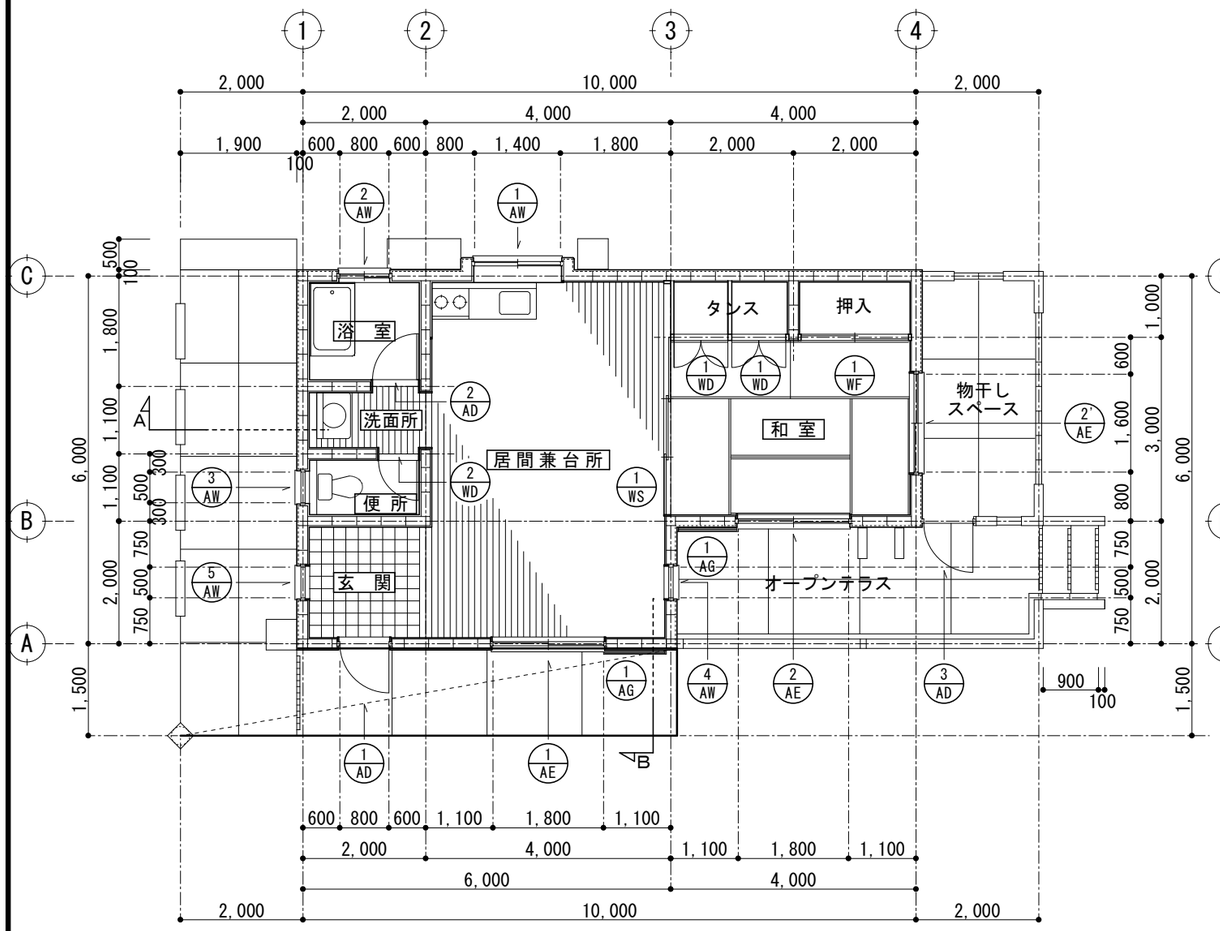
※アスベスト箇所

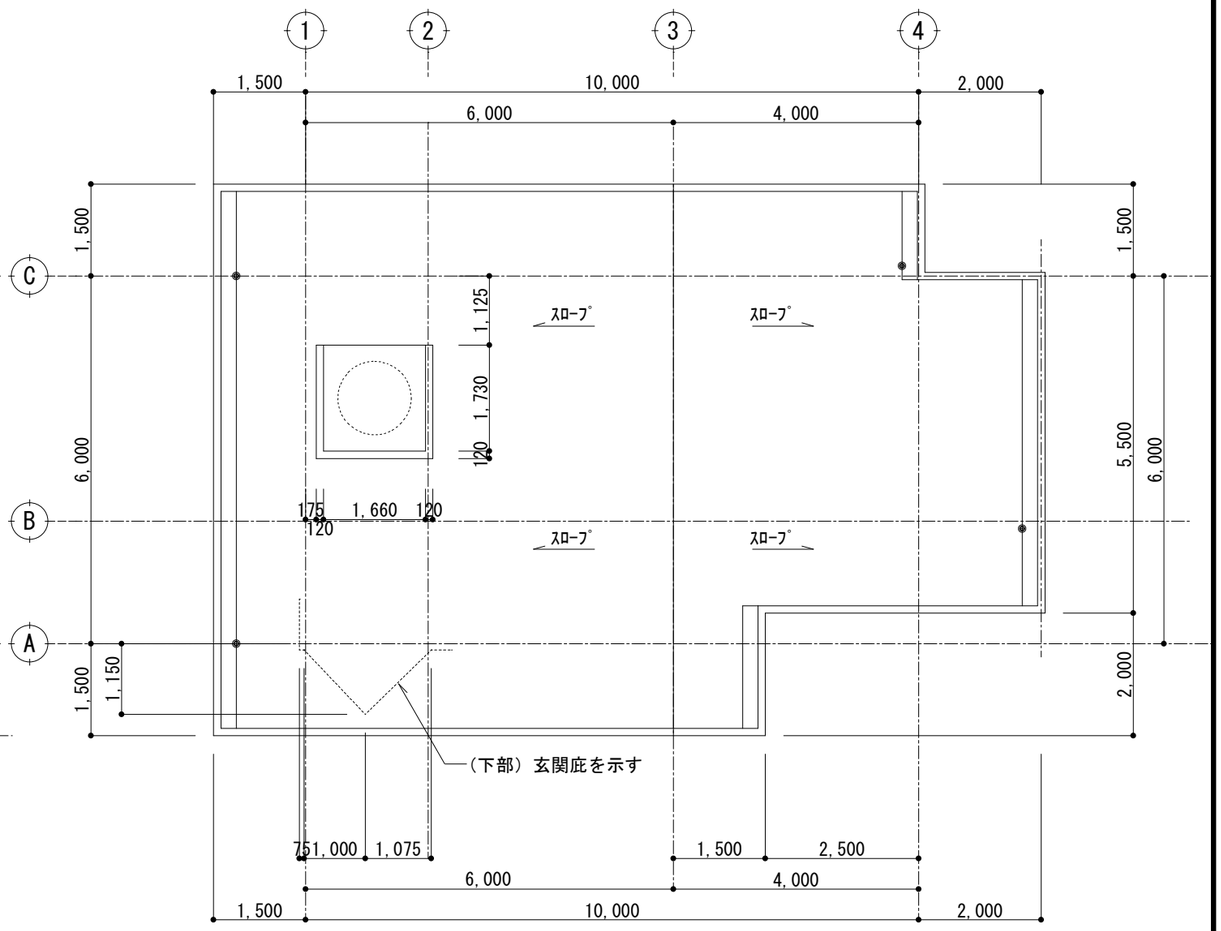


延床面積				
Ⓐ	6.00 × 6.00	=	36.00	
Ⓑ	4.00 × 4.00	=	16.00	
Ⓒ	2.00 × 4.00	=	8.00	
		合計	60.00 ㎡	
住宅部分：	Ⓐ + Ⓑ	=	52.00 ㎡	
物干部分：	Ⓒ	=	8.00 ㎡	

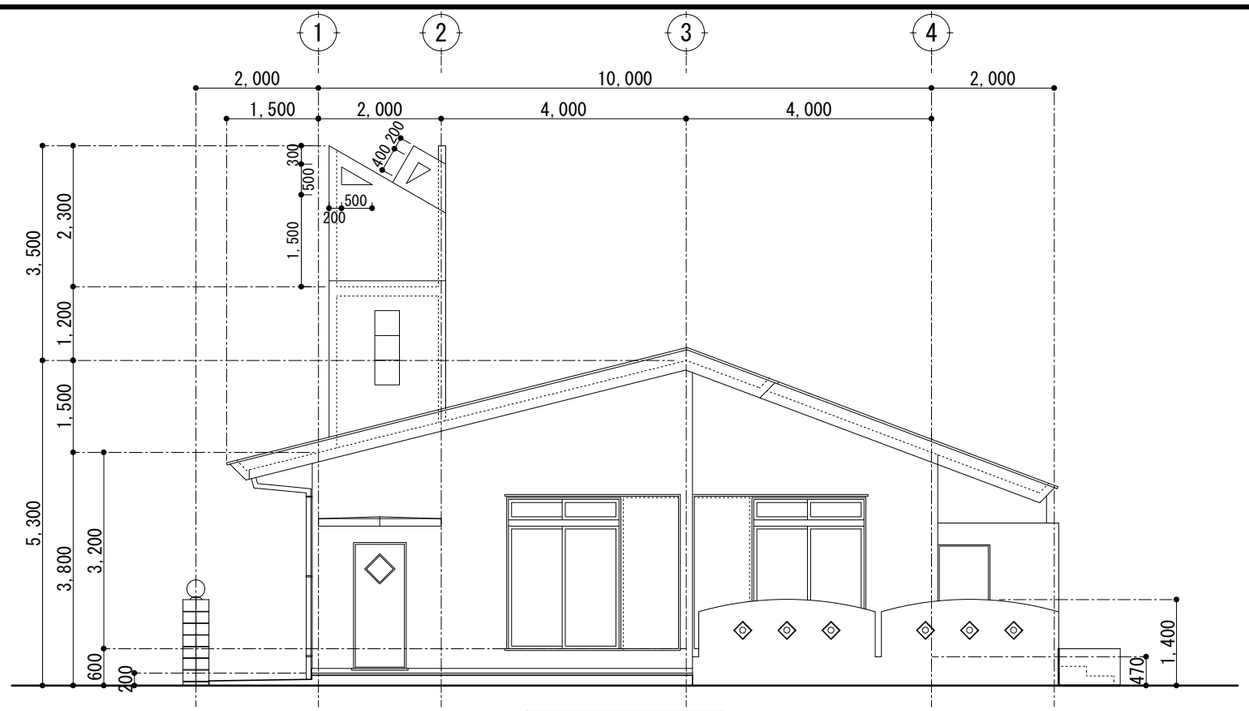
建築面積			
	床面積より		60.00 ㎡
①	10.10 × 0.50	=	5.05
②	6.00 × 1.00	=	6.00
③	1.50 × 1.50	=	2.25
④	6.00 × 0.50	=	3.00
⑤	0.50 × 7.00	=	3.50
		合計	79.80 ㎡

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事	工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118	図面名称	看護師住宅 仕上・面積表
発注機関	沖縄県立北部病院	縮尺	S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
摘要		図面番号	K-17
検印	管理建築士 / 設計 / 製図 比嘉	設計者	名称：（株）国吉設計
			資格者氏名：（株）国吉設計　松田　光博
			登録番号：一級建築士　第　166087　号
			一級建築士事務所　第　10Y-157　号
			所在地：沖縄県名護市字宮里453-7

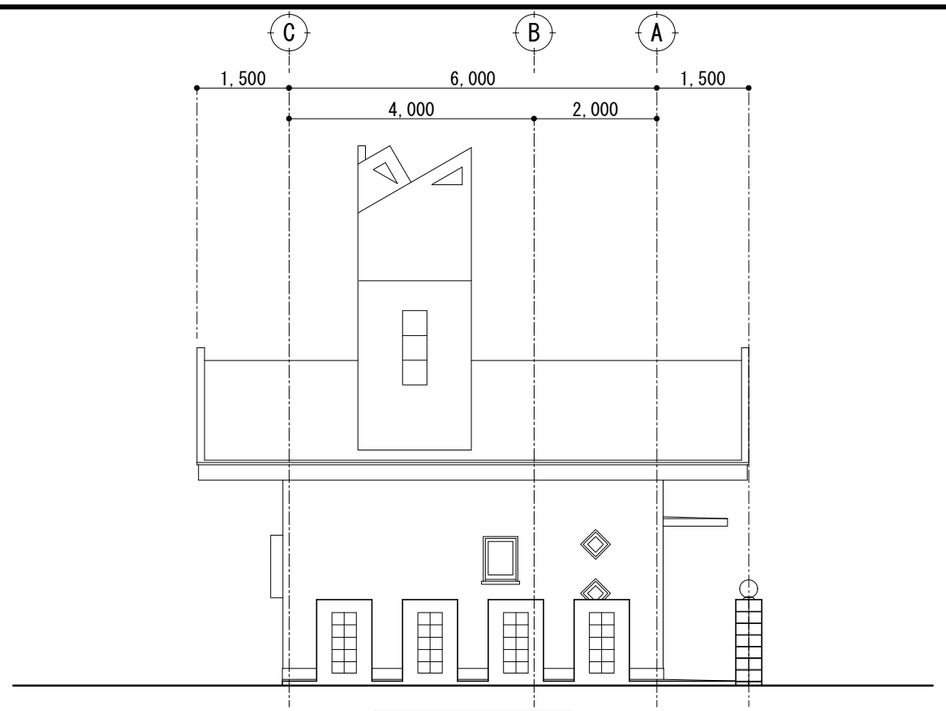




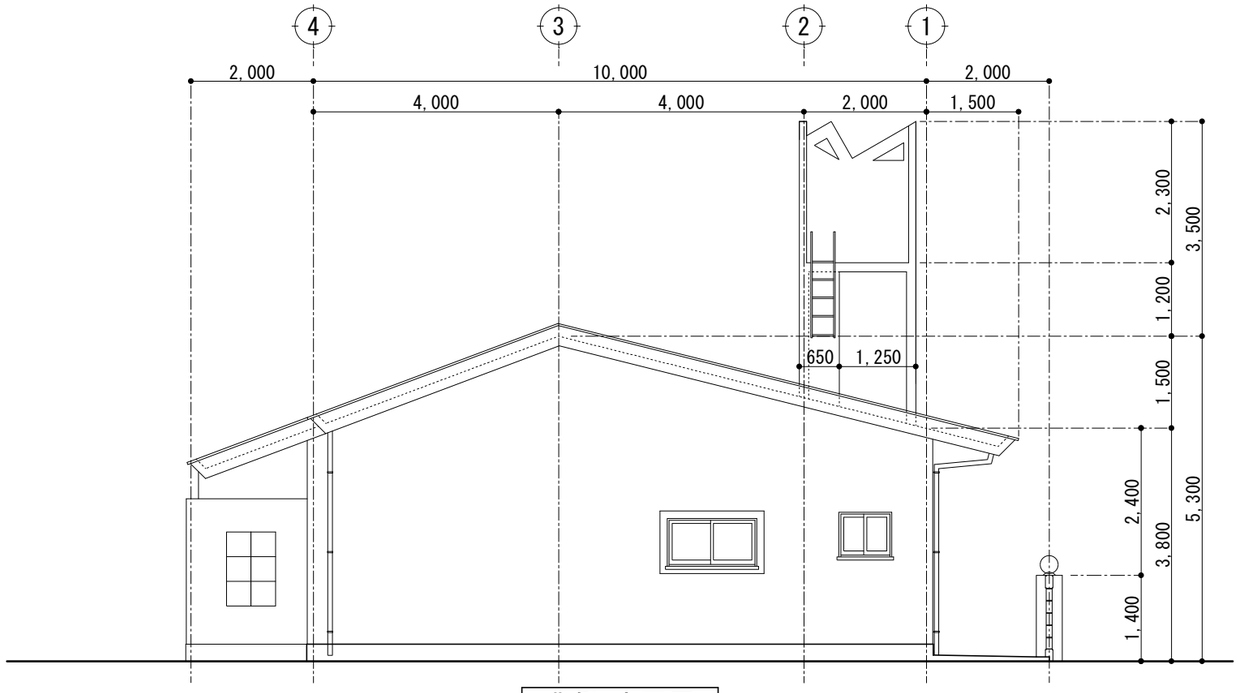
工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮 尺	看護師住宅 平面図・屋根伏図 S=1/50(A1) S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-18
摘 要				設計者 名 称	(株) 国吉設計
検 印	管理建築士	設 計	製 図	資格者氏名	(株) 国吉設計 松田 光博
			比嘉	登録番号	一級建築士 第 166087 号
					一級建築士事務所 第 10Y-157 号
				所 在 地	沖縄県名護市字宮里453-7



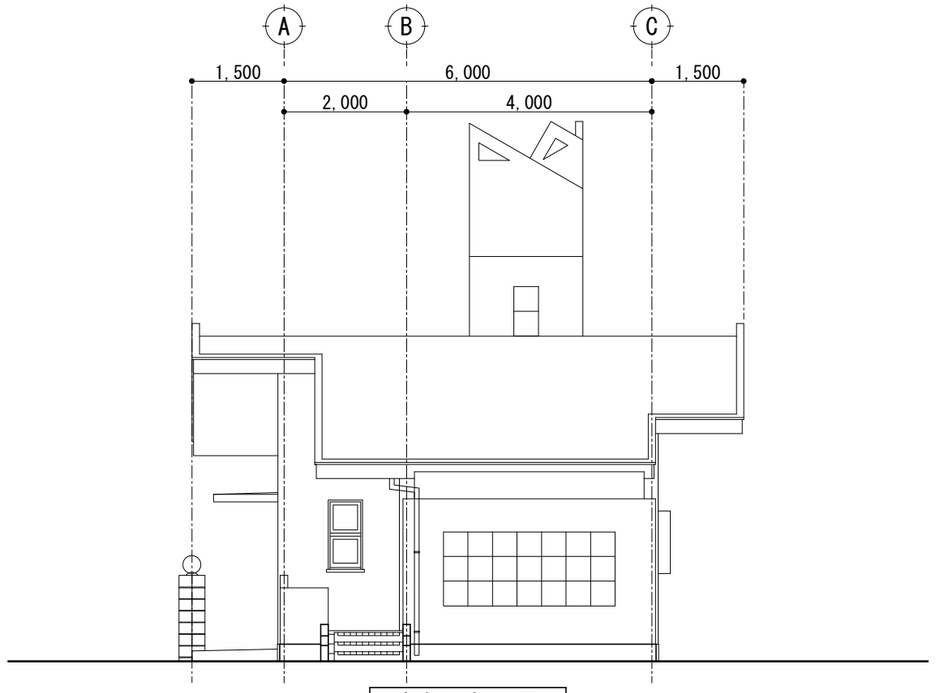
南側 立面図



西側 立面図

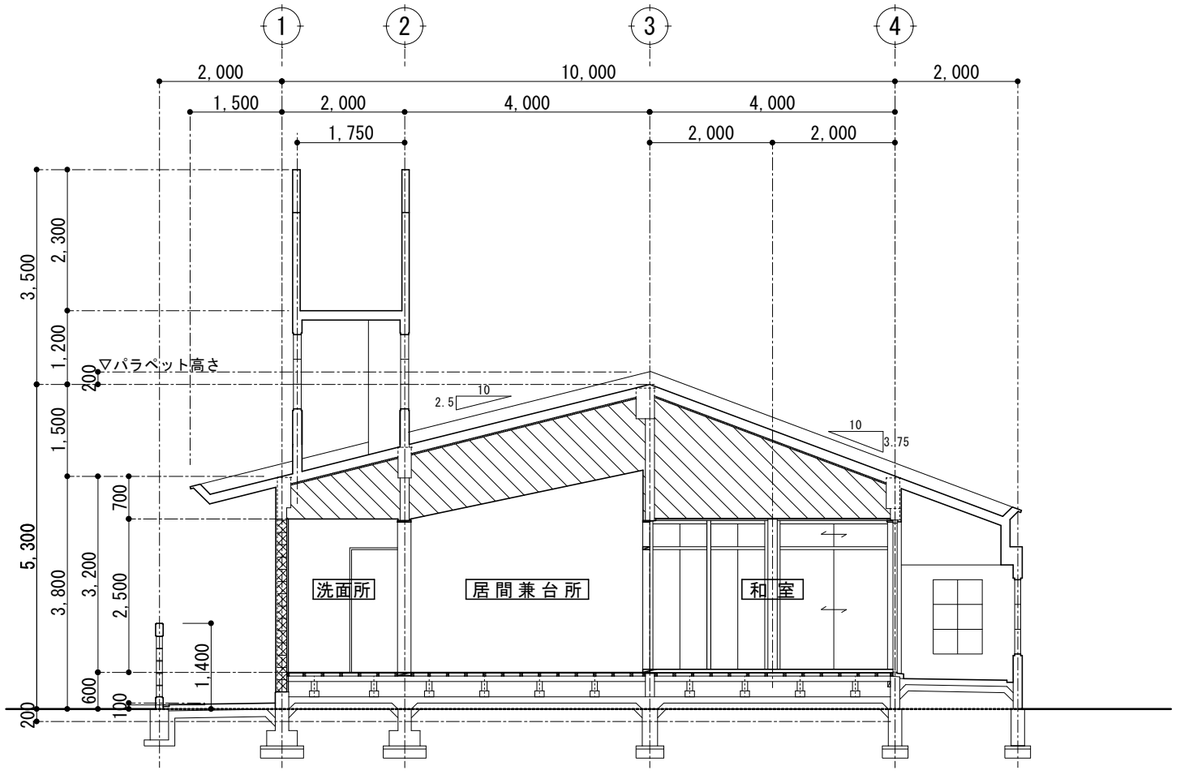


北側 立面図

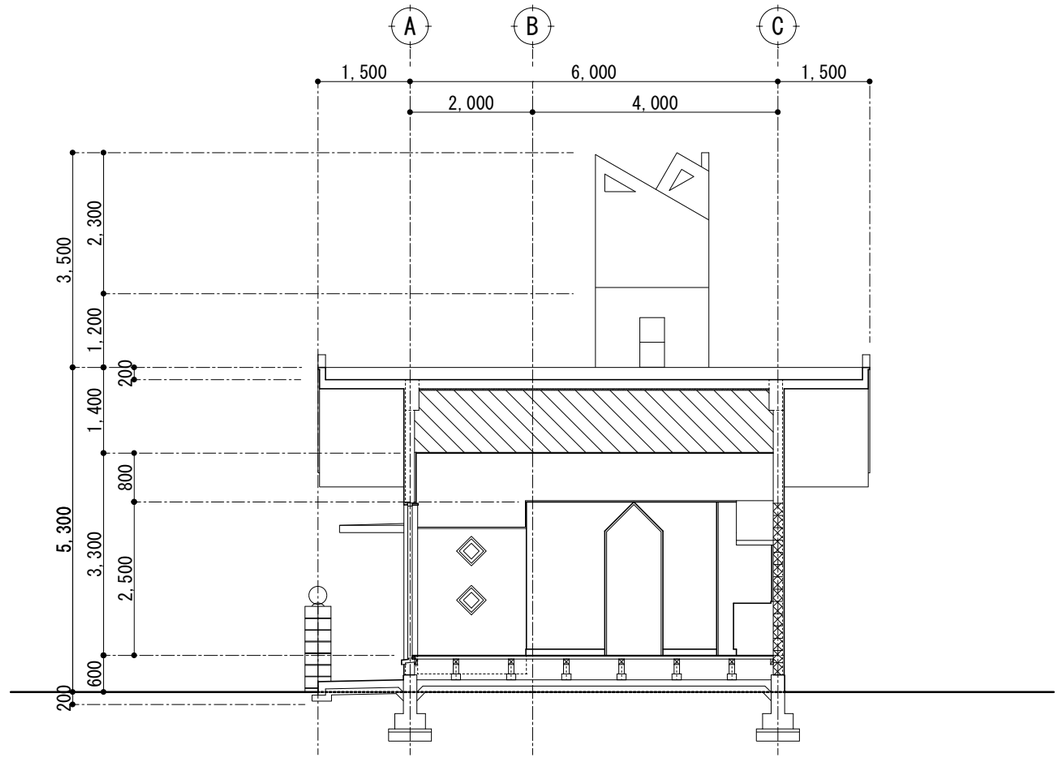


東側 立面図

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	看護師住宅 立面図 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-19
摘　要				設計者 名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
			宮城	登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7



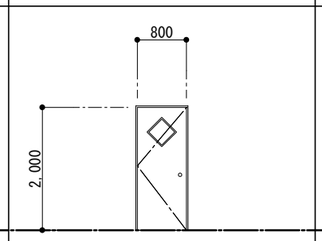
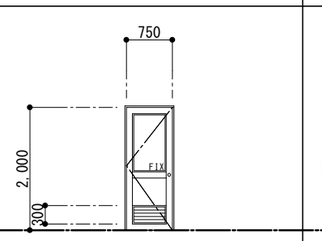
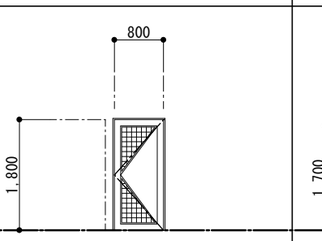
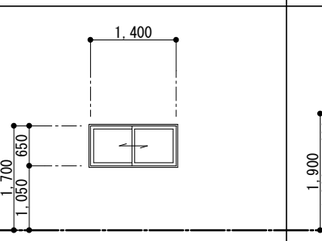
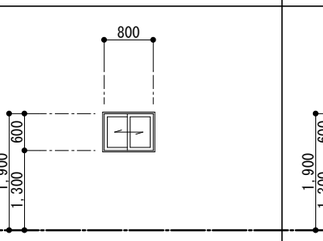
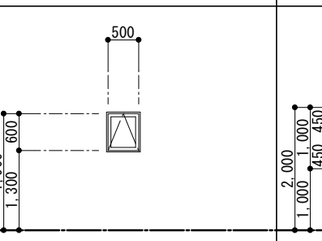
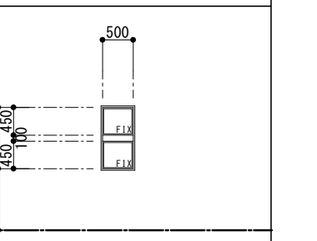
A 断面図

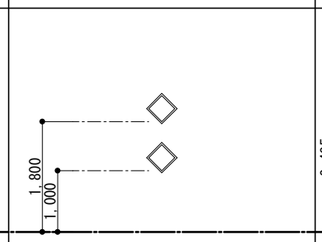
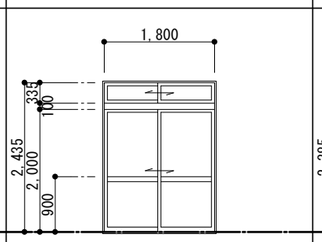
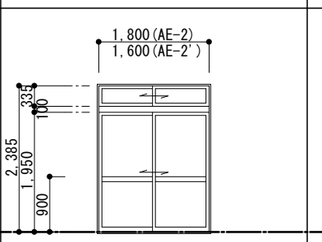
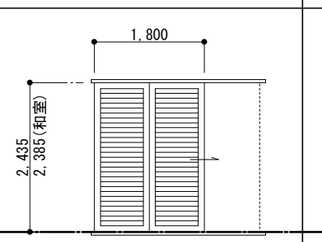


B 断面図

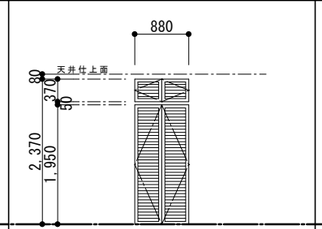
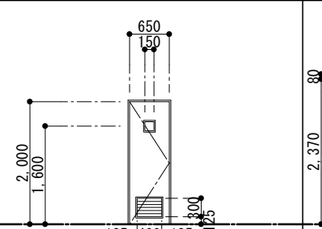
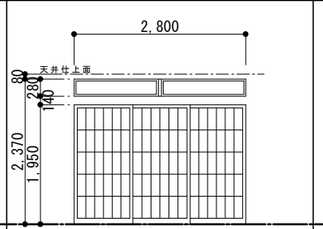
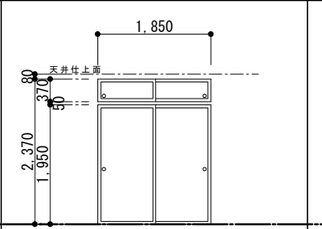
工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度	
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	看護師住宅 断面図 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)	
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-20	
摘　要				設計者	名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図		資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
			比嘉		登録番号	一級建築士　第　166087　号
						一級建築士事務所　第　10Y-157　号
					所在地	沖縄県名護市字宮里453-7

金属製建具表

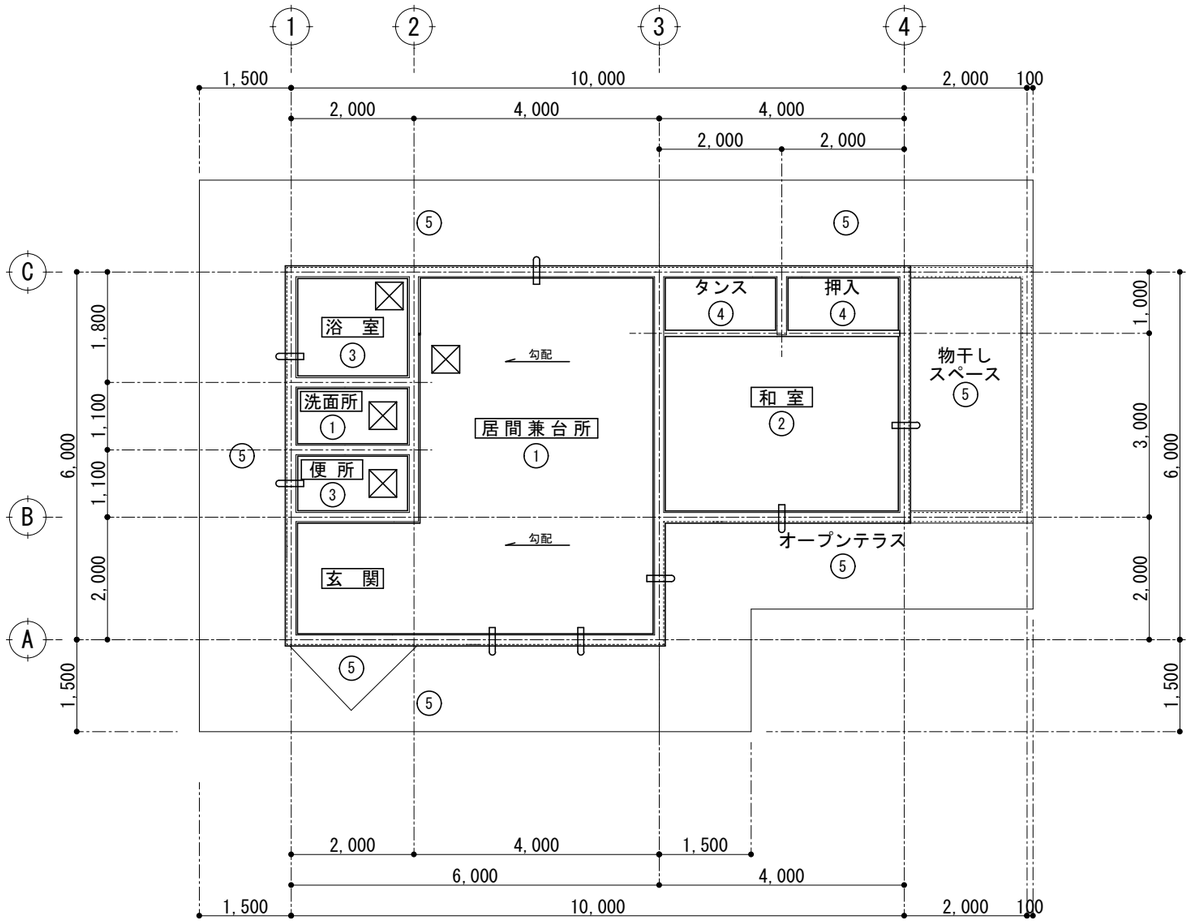
符号 室名 数量	1/AD 玄　関 1箇所	2/AD 浴　室 1箇所	3/AD 物干しスペース 1箇所	1/AW 居間兼台所 1箇所	2/AW 浴　室 1箇所	3/AW 便　所 1箇所	4/AW 居間兼台所 1箇所
外観図							
型式・見込	片開きフラッシュドア　100 mm	片開き框ドア(アルミ格子 付)　70 mm	片開き框ドア(アルミ格子 付)　70 mm	引違い窓　70 mm	引違い窓　70 mm	すべり出し窓　70 mm	FIX窓　70 mm
仕上	アルミ(フラット板)	アルミ(フラット板)	アルミ(フラット板)	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
ガラス	型板ガラス　6 mm	型板ガラス　6 mm	――	型板ガラス　6 mm	型板ガラス　6 mm	型板ガラス　6 mm	フロートガラス　6 mm
金物	――	――	――	――	――	――	――
備考	片面木製額縁(3)	片面木製額縁(4)	片面木製額縁(3)	可動網戸付、アルミ格子	可動網戸付、アルミ格子		

符号 室名 数量	5/AW 玄　関 1箇所	1/AE 居間兼台所 1箇所	2/AE 2'/AE 和　室 1箇所	1/AG 居間兼台所 和　室 2箇所			
外観図							
型式・見込	FIX窓　70 mm	ランマ付き引違い戸　100 mm	ランマ付き引違い戸　100 mm	２枚片開き雨戸			
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ			
ガラス	琉球ガラス(300角)　15 mm	型板ガラス　6 mm フロートガラス　5 mm	型板ガラス　6 mm フロートガラス　5 mm	――			
金物	――	――	――	――			
備考	シーリング押え 片面木製額縁(4)	可動網戸付 片面木製額縁(3)	可動網戸付 片面木製額縁(3)				

木製建具表

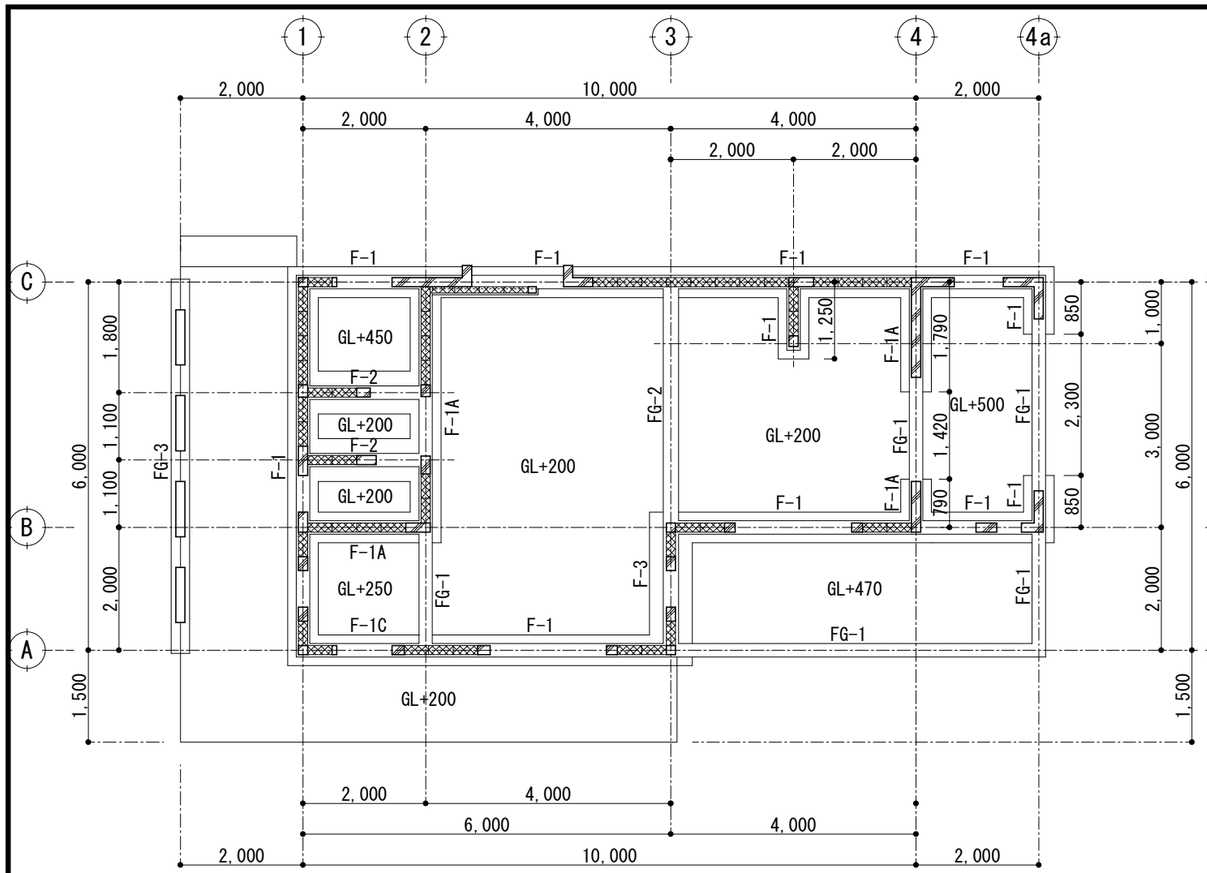
符号 室名 数量	1/WG 和　室 1箇所	1/WD 便　所 1箇所	1/WS 和　室 1箇所	1/WF 和　室 1箇所	
外観図					
型式・見込	木製両開きガラリ戸　30 mm	木製片開きフラッシュドア　40 mm	３枚引違い障子戸　27 mm	引違いフスマ戸　27 mm	
仕上	CL	CL	CL	CL	
ガラス	――	型板ガラス　4 mm	――	――	
金物	――	――	――	――	
備考			引手(6)	引手(4)	

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称	看護師住宅 建具表
発注機関	沖縄県立北部病院			縮　尺	S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
摘　要				図面番号	K-21
検　印	管理建築士	設　計	製　図	設計者 名　称	(株)国吉設計
			比嘉	資格者氏名	(株)国吉設計　松田　光博
				登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所在地	沖縄県名護市字宮里453-7

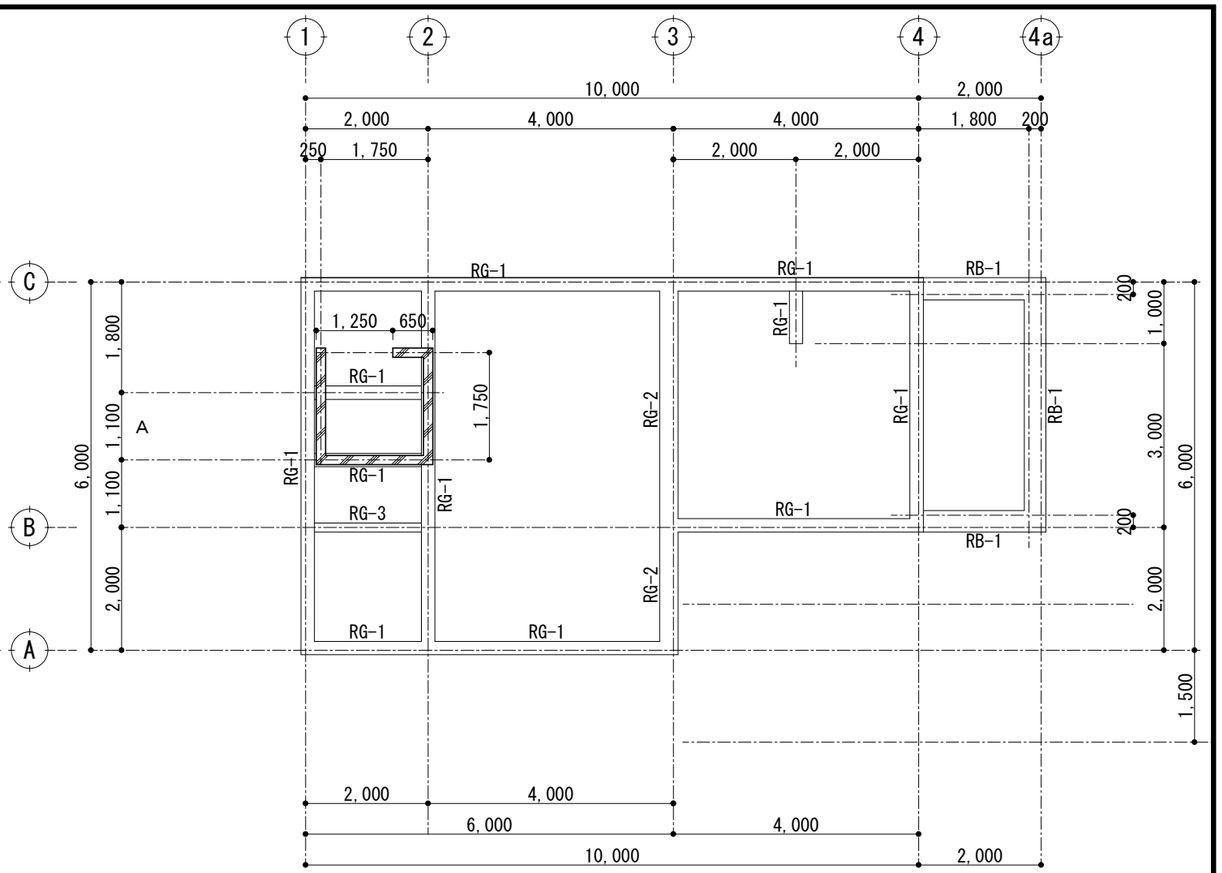


天　井	
①	9mm 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地(LGS下地) 9mm ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板張り
②	12mm 化粧ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板張り(和風天)
③	発砲樹脂裏打硬質塩ﾋﾞﾊﾟﾈﾙ張り
④	4mm ﾌﾟﾘﾝﾄ合板張り
⑤	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の後、ＶＰ塗装(Ｂ種)
☒	ｱﾙﾐ製点検口　450角
▭	天井換気 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊﾟｲﾌﾟ(内径 50Φ)

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	看護師住宅 天井伏図 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-22
摘　要				設計者 名　称	(株) 国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	(株) 国吉設計　松田　光博
			比嘉	登録番号	一級建築士　第　166087　号 一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7

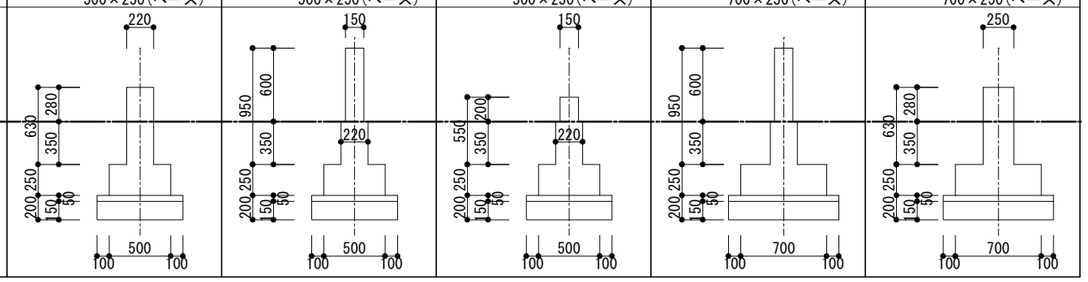


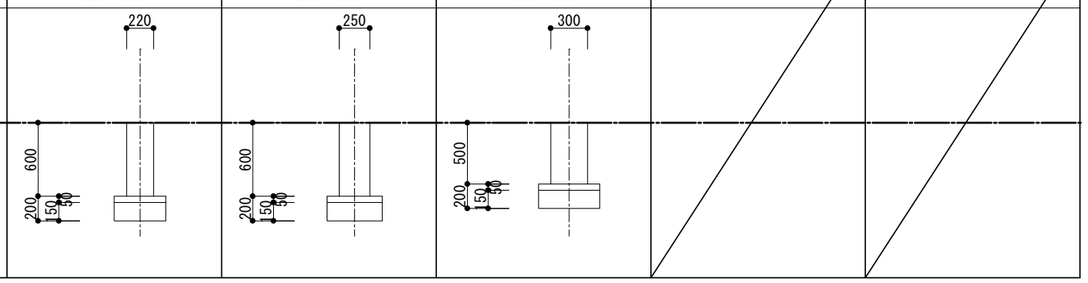
基礎伏図 S=1/100



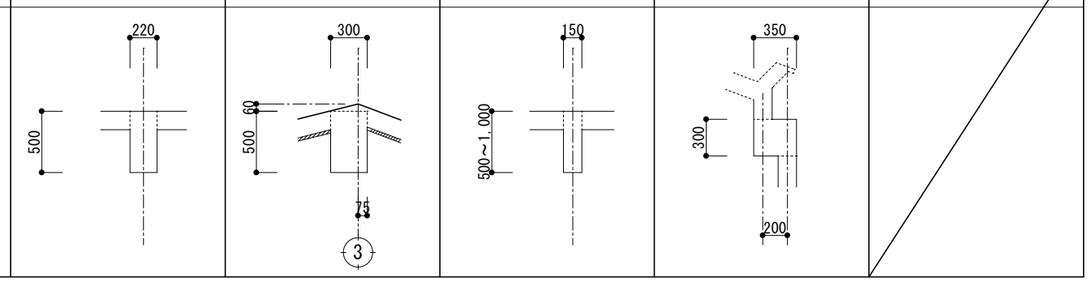
梁伏図 S=1/100

基礎断面図 S=1/50

符号	F−1	F−1A	F−1C	F−2	F−3
B × D	220×630 500×250(ベース)	220×350 500×250(ベース)	220×350 500×250(ベース)	220×350 700×250(ベース)	220×630 700×250(ベース)
断面					

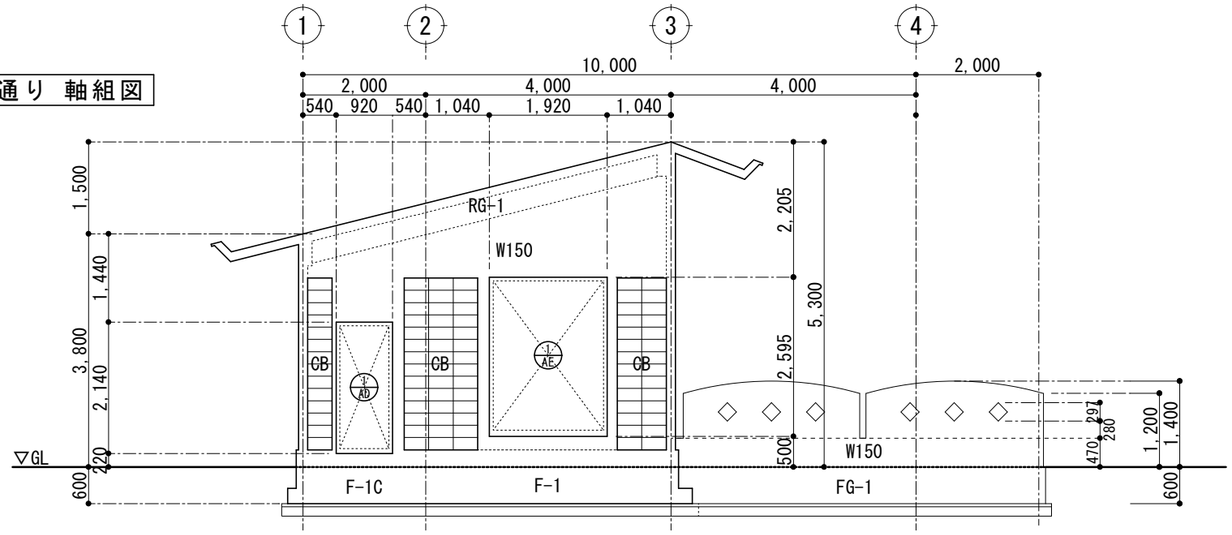
符号	FG−1	FG−2	FG−3		
B × D	220×600	250×600	300×500		
断面					

梁断面図 S=1/50

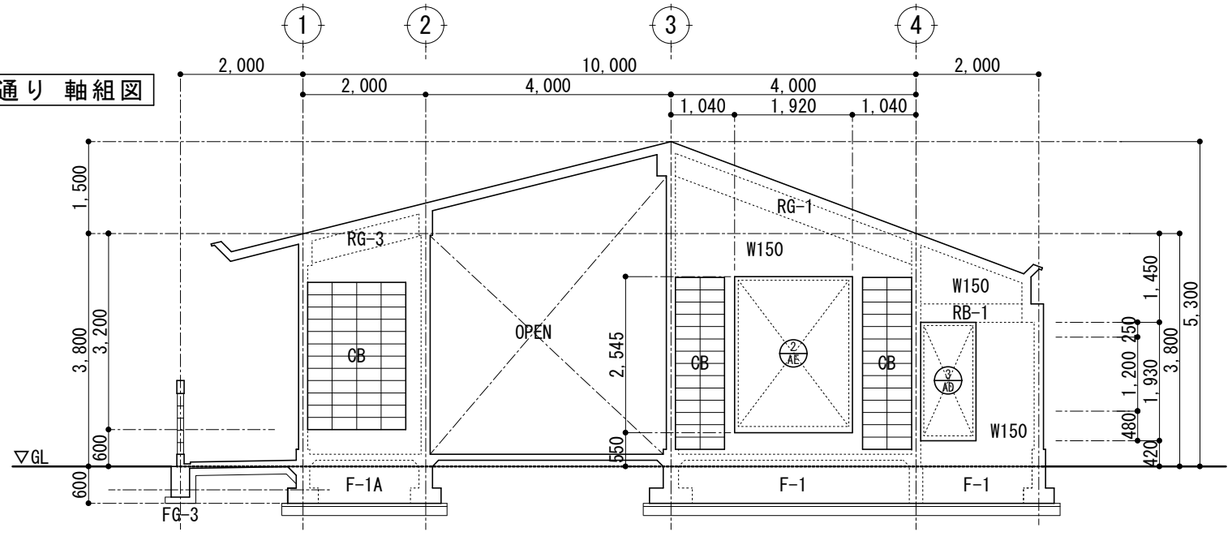
符号	RG−1	RG−2	RG−3	RB−1	
B × D	220×500	300×500	150×500～1,000	350×300	
断面					

工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	看護師住宅 基礎・梁伏図 S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-23
摘　要				設計者 名　称	(株) 国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	(株) 国吉設計　松田　光博
			比嘉	登録番号	一級建築士　第　166087　号 一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7

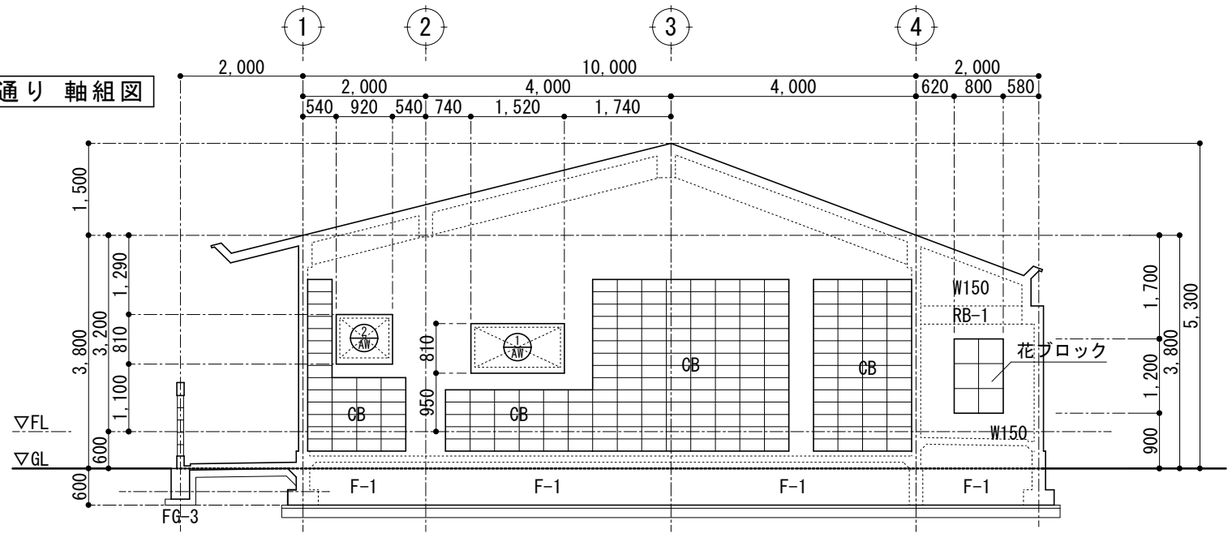
A通り 軸組図



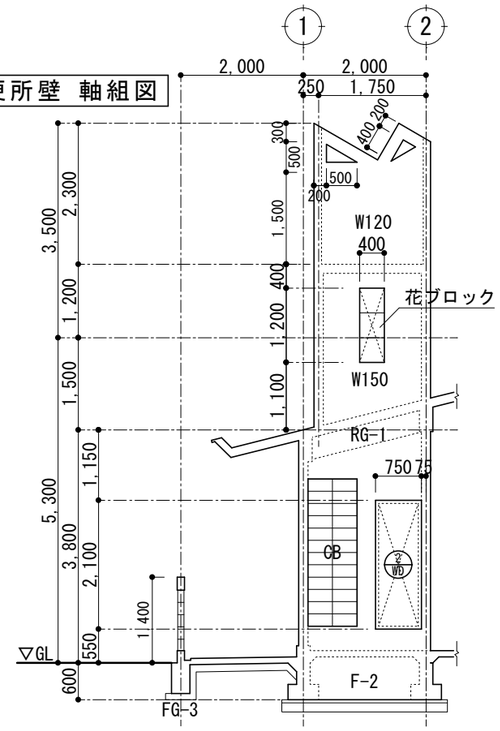
B通り 軸組図



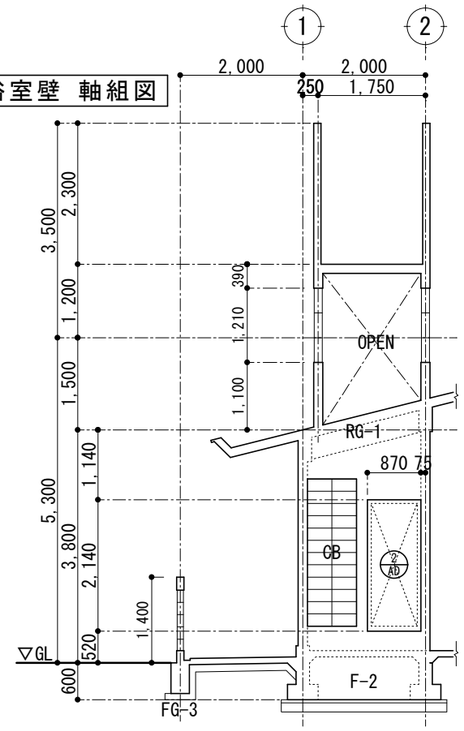
C通り 軸組図



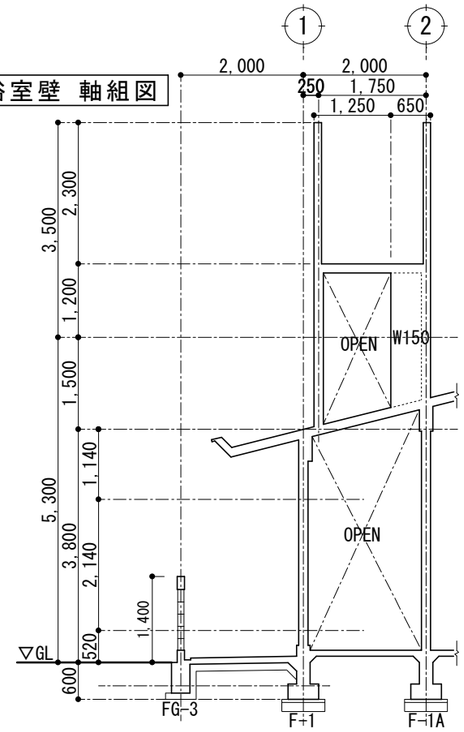
便所壁 軸組図



浴室壁 軸組図

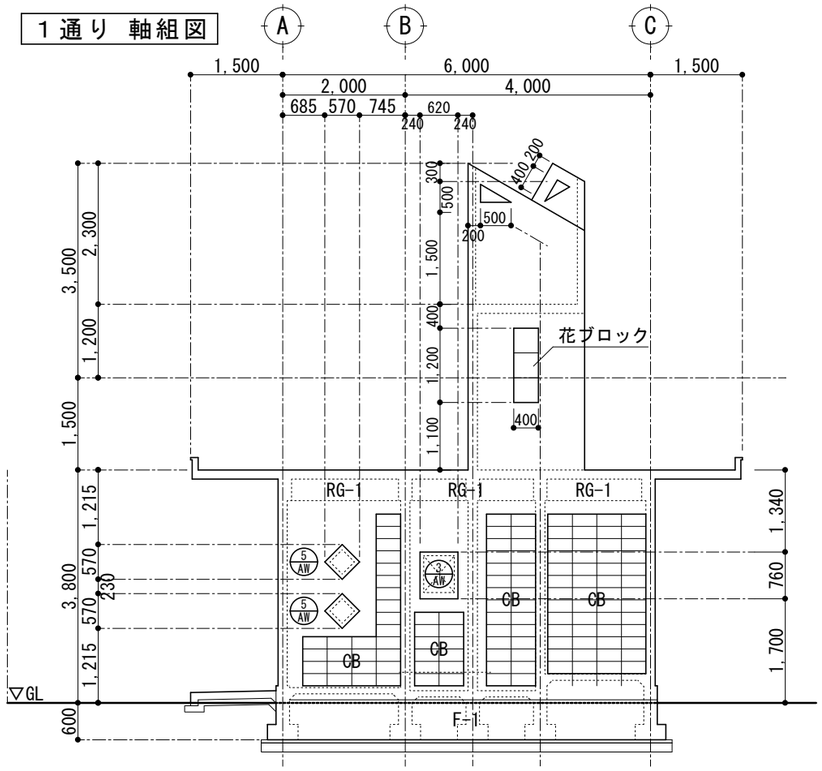


浴室壁 軸組図

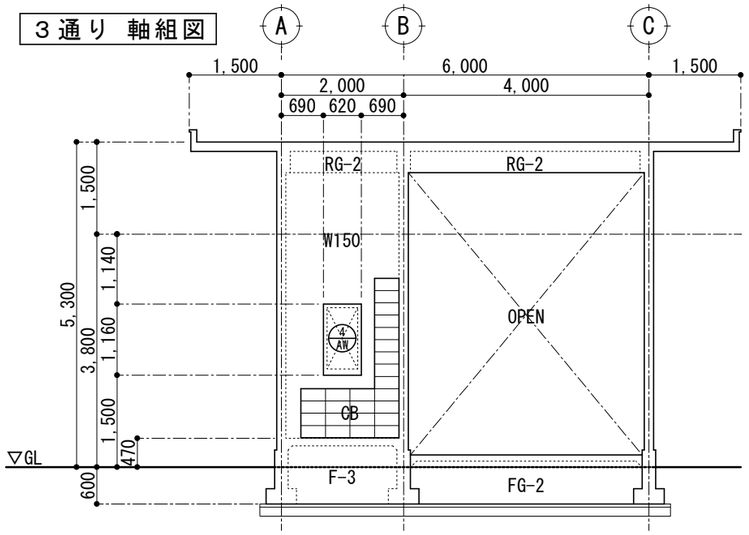


工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	看護師住宅 軸組図１ S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-24
摘　要				設計者 名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
			比嘉	登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所　在　地	沖縄県名護市字宮里453-7

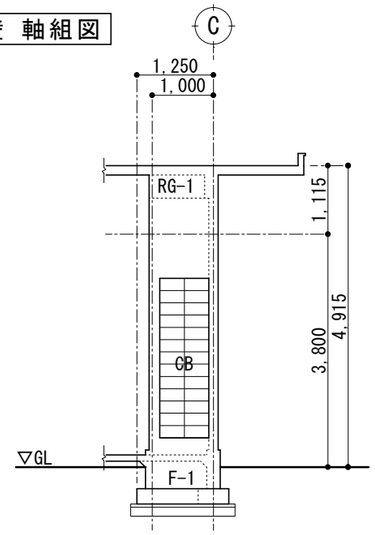
１通り 軸組図



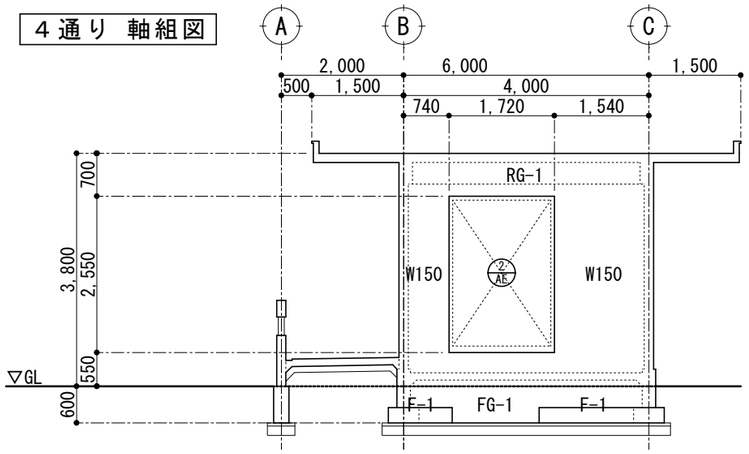
３通り 軸組図



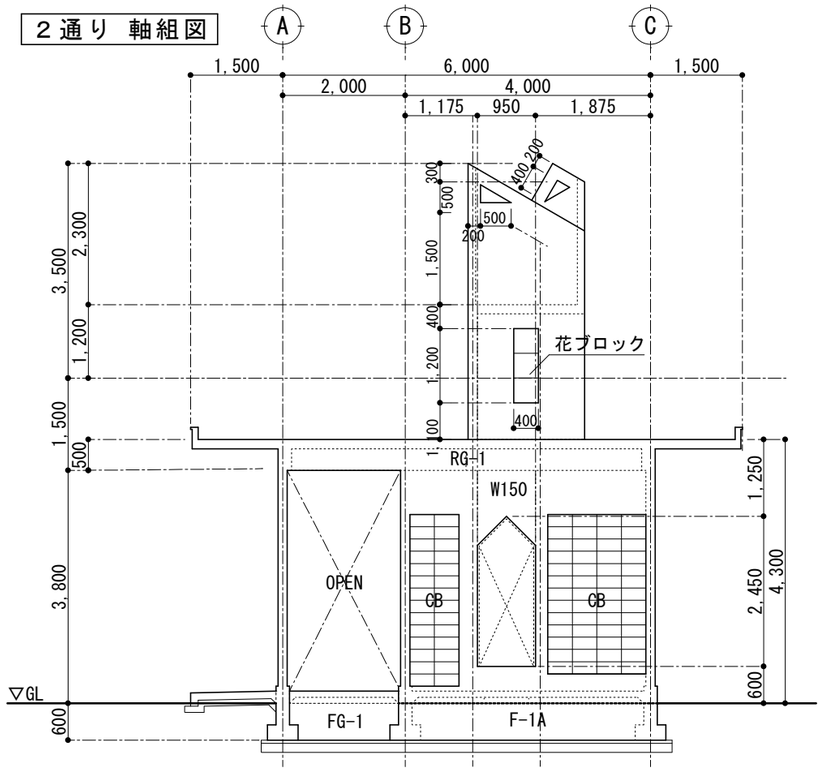
押入壁 軸組図



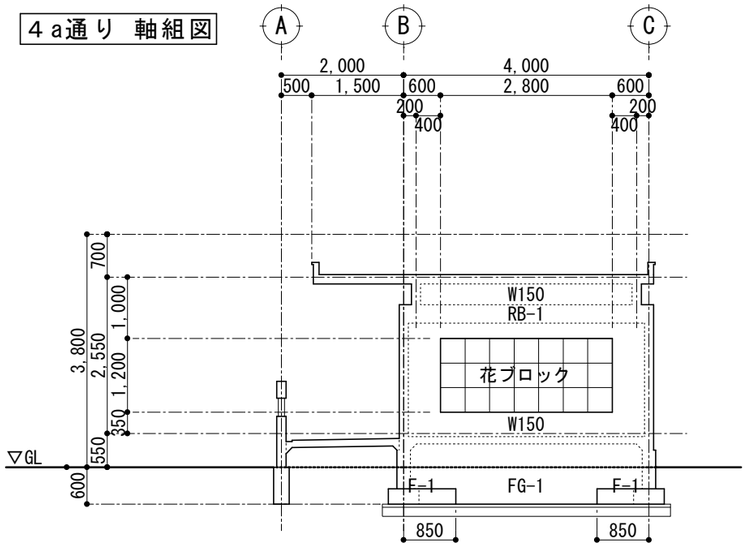
４通り 軸組図



２通り 軸組図



４a通り 軸組図



工事名称	旧県立北部病院附属古宇利診療所施設等解体工事			工事年度	令和４年度
工事場所	今帰仁村字古宇利117、118			図面名称 縮　尺	看護師住宅 軸組図２ S=1/50(A1)　S=1/100(A3)
発注機関	沖縄県立北部病院			図面番号	K-25
摘　要				設計者 名　称	（株）国吉設計
検　印	管理建築士	設　計	製　図	資格者氏名	（株）国吉設計　松田　光博
			比嘉	登録番号	一級建築士　第　166087　号
					一級建築士事務所　第　10Y-157　号
				所在地	沖縄県名護市字宮里453-7